令和２年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団
事　　業　　報　　告

自　令和２年４月　１日

至　令和３年３月３１日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

目　　次

○令和２年度の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

○令和２年度目黒区文化ホール事業報告・・・・・・・・・　６

第１　自主事業　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

第２　受託事業　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１

○令和２年度目黒区美術館事業報告・・・・・・・・・・・３９

第１　自主事業　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９

第２　受託事業　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５

第３　その他事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９

○　処務の概要

（１）重要な契約の概要　　・・・・・・・・・・・・・・５６

（２）財団運営会議開催状況　・・・・・・・・・・・・・・５６

（３）理事会・評議員会開催状況　・・・・・・・・・・・５７

（４）評議員・理事・監事名簿　　・・・・・・・・・・・５８

令和２年度の取組

令和２年度は、公益財団法人への移行１０年目という節目の年であり、また、目黒区文化ホール（以下「文化ホール」という。）及び目黒区美術館（以下「美術館」という。）の指定管理は４期目（令和元年度から５年度）の２年目となりました。

令和２年初頭から始まった、新型コロナウイルス感染症に起因する世界的大流行（パンデミック）は、財団運営に極めて大きな影響を及ぼしました。多くの事業が中止や延期となり、区民の方々に良質な芸術・文化に触れる機会をお届けし、或いは活動の場を提供するという、当財団に課せられた役割を十分に果たすことが困難な状況に直面することとなりました。

このような状況の中で、当財団に課された役割を果たしていくために、いかに多人数の接触を抑制しながら、活動の継続・充実を図るかを喫緊の課題として、オンライン会議システムを利用したワークショップやコンサートのオンライン配信、ＳＮＳでの情報発信など、インターネットを積極的に活用してまいりました。同時に、実演芸術や美術作品を直接鑑賞することでしか得られない感動もあり、コロナ禍においても芸術に触れられる機会を提供し続けることも財団の重要な使命と捉え、感染防止対策を講じながら公演や展覧会を開催いたしました。

なお、東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会が令和３年夏の開催に延期となったことから、当初計画していた様々な関連事業については、３年度の事業として改めて実施することといたしました。

一方、財務面では、施設の休館などにより、２年度の利用料金収入は大幅に減少しましたが、目黒区の財政支援を得て、芸術・文化の担い手の育成や団体等への支援を一定程度継続することができました。

今後も「新しい生活様式」を踏まえつつ、区民をはじめ利用者の立場に立ちながら、“文化の崩壊”を招かないためにも、当財団の魅力ある活動に一層の磨きをかけてまいります。併せて、公益を目的とする財団として、「収支相償の原則」を守りつつ、財務体質の強化を図るとともに、職員一人ひとりの創意工夫を生かした取組などを通して、区民の皆様をはじめとした来館者や利用者へのより一層のサービスの充実に努めてまいります。

１　文化ホール

令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの事業が中止や延期になったことから、自主事業１５事業、区からの受託事業１事業の実施となりました。

また、利用者や来場者の安全・安心を最大限に考慮し、新型コロナウイルスへの感染症対策を徹底するため、ソーシャル・ディスタンスの徹底、収容人数や夜間利用の制限など、国等のガイドラインを参考に、目黒区と協議しホールのガイドラインを策定いたしました。

そうした中でも、多様な鑑賞・体験・参加の機会の充実のため、オンライン会議システムを利用したワークショップやコンサートの配信、ＳＮＳでの情報発信等に積極的に取り組み、一方では実演芸術を直接鑑賞することでしか味わえない機会を可能な限り提供してまいりました。

（１）鑑賞事業

鑑賞事業は、財団自らの財源を充てた主催事業のほか共催事業を活用し、区民に良質な公演の鑑賞機会を提供してまいりました。また、主催・共催事業とも各年代層の要望に沿いつつ、公演ジャンルが偏らないことなどに留意し、年代の枠を超えた集客を目指してまいりました。主な事業は次のとおりです。

○ 新進気鋭のアーティストをソリストに迎えた「フレッシュ名曲コンサート」。併せて公演の模様をライブ配信し、公演終了後はアーカイブ配信も実施

○ 美術館の「視ることの楽しみ－画材と素材の引き出し博物館」展と連携した、音楽家の創作の引き出しを紹介したイベント

○ 著名なアーティスト３名によるオール・シューマン・プログラム

○ 在京オーケストラの首席奏者や実力派ソリストによるアンサンブル「東京六人組」による室内楽コンサート

（２）地域の芸術文化・支援事業

豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力ある地域づくりを目指して、地域に根差した事業の展開を図りました。主な事業は次のとおりです。

○ 新進気鋭の演奏家を支援し、区民に紹介する「未来の音シリーズ vol.30～vol.32」

このほか、地域で優れた芸術文化活動を行う様々な団体への支援の一つとして実施している共催事業は、新型コロナウイルス感染拡大の中、１事

業のみ実施することができました。

（３）体験・普及事業

区の補助金のほか、他団体の助成金や財団自らの財源も充てた「子どものためのワークショップ」、「大人の演劇ワークショップ」、「アウトリーチプログラム」の３つの事業を行いました。

○「子どものためのワークショップ」は、中高生を対象にした「演劇」を、今回初めてオンラインで実施し、実演芸術に親しみ創造性を育む機会を提供しました。

○「大人の演劇ワークショップ」は、オンライン及び対面でのワークショップを通して、参加者に“他者と交流する機会”、“表現する機会”を提供することができました。

○「アウトリーチプログラム」は、ホールでの鑑賞機会が少ない子どもたちの身近な場所である小学校と中学校に、様々なジャンルのアーティストとともに赴き、生の演奏を間近に聴く体験を通してアーティストの表現を体感してもらう機会を提供することができました。また、区立幼稚園、区立こども園でも実施いたしました。

（４）受託事業・指定管理事業

例年実施している「目黒区文化祭」や「めぐろオータムアート」、震災１０年の節目に計画していた「東日本大震災復興支援コンサート」は中止となりましたが、「東日本大震災復興支援コンサート」の関連企画として「気仙沼漁師カレンダー展」を実施いたしました。

また、指定管理事業として計画していた「めぐろで第九 2020」は３年度に延期いたしました。

（５）貸館事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえ、今まで以上に、利用者が安心して利用していただけるよう、ホールのガイドラインを策定しました。また、日常点検や定期的な保守点検を通じて安全の確保を図りながら、施設の適切な運営と管理に努めました。

各施設の年間利用率は、新型コロナウイルス感染拡大により活動の自粛に伴う利用の中止や延期が相次ぎ、大ホールは４９．７％、小ホールは５１．９％となるなど各施設とも元年度に比べ約３０ポイントの減少となりました。

なお、２年度は、区の実施計画に基づき、小ホール音響機器更新及び舞台機構部品交換工事を行い、機器等の改善及び安全性の向上を図ることができました。

２ 美術館

令和２年度は、展覧会事業６展を中心にワークショップなどの教育普及事業を進めましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部の事業が中止や延期となりました。

その中でも、予定した展覧会をコロナ禍に対応した内容に変更、中止となった展覧会の代替展を開催、さらに対面式のワークショップをオンラインで開催する等、美術館に求められる役割を果たすことができるよう努めました。

（１）展覧会事業

○ 自主事業展覧会は、次の２展を開催

「あそぶひとー人形と子どもの暮らし」展

「前田家の近代美術コレクション」展

７月～８月に予定していた「包むー日本の伝統パッケージ」展は、オリンピック・パラリンピック開催が３年度に延期になったことに伴い延期

○ 指定管理事業による展覧会は次の２展を開催

「目黒区美術館コレクション展 LIFEーコロナ禍を生きる私たちの命と暮らし」展

「めぐろの子どもたち展」が中止となったため、代わりに「視ることの楽しみー画材と素材の引き出し博物館」展を開催

○ 区からの受託事業

「障がいのあるアーティストによる作品展　日々のよろこび」展は中止

○ 展覧会の入館者数　１０，５７０人（開催した各展覧会の合計目標を約４，５００人下回る）

「あそぶひとー人形と子どもの暮らし」展はＮＨＫの「あさイチ」に、「目黒区美術館コレクション展 LIFEーコロナ禍を生きる私たちの命と暮らし」展は読売新聞などに取り上げられました。

（２）教育普及事業

教育普及事業については、ソーシャル・ディスタンスを確保したうえで、対面式のトークイベントを実施しました。また、ワークショップ事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインを利用した新たな内容に組み直す等の対応をしました。

○ ワークショップ夏は中止

○ 子どものためのワークショップ春「離れてあそぶ初めての うちんち！ワークショップ」を、初めてオンラインで開催

○ 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー、大人のための美術カフェは中止

○ トイコレクションプログラムは、活動内容を紹介する動画を配信
○ デザインキャンプは、令和２年３月に予定していたプログラムが中止になったことから、当初の内容をオンライン向けに組み替えて、講義編と実践編を開催
○ 館長による美術講座は、展示室を使用しソーシャル・ディスタンスを確保したうえで開催

（３）調査研究

指定管理事業である作品の保管・活用は、所蔵作品の保存・修復のほか、国内の美術館などへ所蔵作品の貸出しを行いました。

所蔵作品や所蔵作家だけでなく最新の美術の動向にも精通し、斬新な視点を構築するために、これまでと同様に調査研究に努め、魅力的な展覧会の開催を目指しました。

（４）区民等の芸術文化活動の支援

区民等への芸術文化活動支援の一環として予定していた、区展及び目黒区美術家協会展など区内３美術団体の展覧会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

また、広報活動に関しては、新たに YouTube 公式ページを開設し、動画配信を行う等、ＳＮＳの活用を一層強化し掲出頻度を上げました。

（５）区民ギャラリーの運営

緊急事態宣言による臨時休館や新型コロナウイルス感染拡大の影響によるキャンセルなどにより、利用率は年間で５０．４％となり、元年度に比べ約４０ポイントの減少となりました。

令和2年度　目黒区文化ホール事業報告

★印は新型コロナウイルス感染拡大に対する活動の自粛に伴う中止又は延期した事業

※イベントの定員は、募集時に設定したものであり、これを上回る応募があった場合、会場の定員を超えない限りにおいて、増員することがある。また、入場者数は実際に入場した人数を示し、チケット販売数とは異なる。

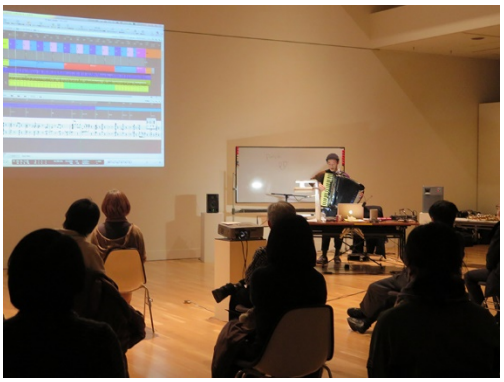
第 1　自主事業（定款第 4 条第 1 項第 1 号）

1　鑑賞事業

（1）主催事業　（6 事業＝7公演）

No.	内容		
1 ①	公演名	〈フレッシュ名曲コンサート＞ キャンペーン・コンサート 小井土文哉（ピアノ）	
	公演日	令和 2 年 10 月 10 日（土）	
	会　場	小ホール	
	料金等	全席指定　1,000 円	
	入場者	102 人【定員 107 名】／完売 ※当初は、政府の緊急事態宣言に沿って小ホールの収容定員（200 名）の半数を販売していた。その後、収容定員緩和措置により、一部追加販売した数を、定員として記載したものである。	
	概　要	「フレッシュ名曲コンサート 読響×原田慶太楼×小井土文哉」のキャンペーン・コンサートとして、ソリストの小井土文哉によるミニ・リサイタルを開催した。 【主催】（公財）目黒区芸術文化振興財団、（公財）東京都歴史文化財団（東京文化会館） 【企画協力】東京オーケストラ事業協同組合	
1 ②	公演名	フレッシュ名曲コンサート 読響×原田慶太楼×小井土文哉	
	公演日	令和 3 年 1 月 30 日（土）	
	会　場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 4,000 円　A 席 3,300 円 学生 1,000 円 オンライン視聴券 1,000 円	
	入場者	652 人【定員 1,200 名】 ※1 月 8 日から 2 月 7 日まで、緊急事態宣言が発出されたため、チケット販売を 1 月 7 日で終了した。	
	概　要	（公財）東京都歴史文化財団との共同主催。区民が気軽にクラシック音楽に親しめる機会を提供し、若手新進演奏家をソリストに起用し、活動を支援することを目的としたコンサート。開館以来初となる、公演の模様をライブ配信し、ライブ配信後はアーカイブ配信（2 週間）も実施し、客席から鑑賞する時とは異なる魅力を発信した（オンライン視聴券は 178 枚販売、視聴回数は 572 回）。 【出演】原田慶太楼（指揮）、小井土文哉（ピアノ）、読売日本交響楽団（管弦楽） 【主催】（公財）目黒区芸術文化振興財団、（公財）東京都歴史文化財団（東京文化会館） 【企画協力】東京オーケストラ事業協同組合	

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">2</td><td>公演名</td><td>郷古廉×横坂源×加藤洋之 The TRIO
オール・シューマン・プログラム vol.2</td><td rowspan="5"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 11 月 1 日（日）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>大ホール</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席指定
一般 3,500 円　学生 2,000 円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>267 人【定員 329 名】
※1 階席収容定員（658 名）の半数を定員として記載したものである。</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">郷古廉（ヴァイオリン）、横坂源（チェロ）、加藤洋之（ピアノ）によるトリオ公演は、前年に引き続き、“オール・シューマン・プログラム”で開催した。
なお、感染症対策の為、小ホールから大ホールに会場を変更し、1 階席のみ使用した。
【曲目】ヴァイオリン・ソナタ第 2 番ニ短調 Op. 121 （郷古・加藤）/詩人の恋（横坂・加藤）/ピアノ三重奏曲第 3 番ト短調 Op. 110（郷古・横坂・加藤）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">3</td><td>公演名</td><td>東京六人組</td><td rowspan="5"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 12 月 9 日（水）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>大ホール</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席指定
一般 3,500 円　学生 2,000 円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>197 人【定員 329 人】
※大ホール 1 階席収容定員（658 名）の半数を定員として記載したものである。</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">上野由恵（フルート）、荒絵理子（オーボエ）、金子平（クラリネット）、福士マリ子（ファゴット）、福川伸陽（ホルン）、三浦友理枝（ピアノ）による実力派アンサンブルが 3 度目の登場。令和 2 年 5 月 12 日の延期公演として開催した。
なお、感染症対策の為、小ホールから大ホールに会場を変更し、1 階席のみ使用した。
【曲目】ブラームス：ハンガリー舞曲第 1 番、第 5 番、第 6 番/磯部周平：きらきら星変装曲/ブラームス（バロン編曲）：ピアノ四重奏曲第 1 番ト短調 Op. 25（ピアノと木管五重奏のための六重奏版）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">4</td><td>公演名</td><td>新春落語二人会
春風亭昇太・春風亭一之輔</td><td rowspan="5"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 1 月 12 日（火）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>大ホール</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席指定
S 席 3,700 円　A 席 3,200 円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>640 人【定員 1,200 名】</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">新春恒例の落語会。開催直前に緊急事態宣言が再発出された影響もありチケット購入者からのキャンセルが生じたが、感染症対策を講じ、盛況に開催することができた。
協賛としていただいたお菓子を、抽選で入場者 30 名に配布した。
【協賛】自由が丘蜂の家</td></tr>
<tr><td rowspan="6">5</td><td>公演名</td><td>目黒区美術館「視ることの楽しみ－画材と素材の引き出し博物館」展　関連イベント
「音楽家の引き出し、お見せします。
大口俊輔 編」－お話＆演奏－</td><td rowspan="5">  </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 1 月 24 日（日）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区美術館　A 展示室</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席自由　1,000 円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>50 人【定員 50 人】／完売</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">目黒区美術館「視ることの楽しみ－画材と素材の引き出し博物館」展会期中、美術や映画など様々なジャンルで活躍する音楽家・大口俊輔の創作の引き出しを、お話や映像、演奏を交えて紹介した。
【出演】大口俊輔（作曲家／ピアニスト／アコーディオン奏者）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">6</td><td>公演名</td><td>Banksia Trio　須川崇志、林正樹、石若駿</td><td rowspan="5"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 3 月 21 日（日）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>小ホール</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席指定　3,500 円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>92 人【定員 100 名】／完売
※小ホール収容定員（200 名）の半数を定員として記載したものである。</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">多彩な活動で注目を集める、日本ジャズ界注目のバンクシアトリオが当ホールに初登場。チケットは早々に完売した。
【出演】須川崇志（ベース）、林正樹（ピアノ）、石若駿（ドラム）</td></tr>
</table>

(2)共催事業（4事業＝6公演　　※ 6事業中止）

No.		内容	
1	公演名	東京バレエ団　Choreographic Project2020　in めぐろバレエ祭り	
	公演日	令和2年9月5日（土）	
	会　場	大ホール	
	料金等	全席指定　一般3,000円 クラブ・アッサンブレ特別料金2,500円	
	入場者	286人【定員329名】 ※大ホール1階席収容定員（658名）の半数を定員として記載したものである。	
	概　要	「第8回めぐろバレエ祭り」の公演として令和2年8月8日（土）に開催を予定していたが、当公演のみ9月に振り替えて上演した。 東京バレエ団のダンサーたちが創作に取り組む本事業は、振付家・ダンサー双方の創造力・表現力を刺激し、アーティストとしてのモチベーションを高めることを目的に、東京バレエ団のスタジオにて上演してきたが、本年は初の試みとして、当ホールにて開催し、これまでの活動を通して生まれた作品に加え、新作を発表した。	
2 ① ②	公演名	柳家小三治　秋の会	
	公演日	令和2年10月21日（水） ①14時開演　②18時30分開演	
	会　場	大ホール	
	料金等	全席指定 S席3,900円　A席3,400円	
	入場者	①520人　②545人【定員600名】 ※ホール収容定員の半数を定員として記載したものである。	
	概　要	夢空間主催による柳家小三治、柳家一琴、柳家三之助の落語公演。	
3 ①	公演名	Music　Dialogue 2020-2021 vol.3 字幕実況解説付き　公開リハーサル	
	公演日	令和2年11月28日（土）	
	会　場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	全席指定 一般2,000円　学生500円	
	入場者	39人【定員75名】 ※ホール収容定員の半数を定員として記載したものである。	
	概　要	音楽家同士が緊密に対話しながら音楽を作り上げていく過程を、スクリーンに映される字幕実況で専門家が解説する公開リハーサル。今回から、来場者がスマートフォンから質問を送ることができるようになった。 【出演】水谷晃（ヴァイオリン）、坪井夏美（ヴァイオリン）、大山平一郎（ヴィオラ）、田原綾子（ヴィオラ）、笹沼樹（チェロ）、金子鈴太郎（チェロ）	

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">3
②</td><td>公演名</td><td>Music　Dialogue 2020-2021 vol.3
-室内楽を通じて音楽家と対面する</td><td rowspan="5"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 11 月 30 日（月）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>小ホール</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席指定
一般 4,000 円　学生 2,000 円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>83 人【定員 100 名】
※ホール収容定員の半数を定員として記載したものである。</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">一流の演奏家たちが練り上げたアンサンブルを聴き、演奏後には言葉による対話によって作品や演奏家により近づくことができる演奏会。
【曲目】アレンスキー：弦楽四重奏曲第 2 番イ短調 Op.35/チャイコフスキー：弦楽六重奏曲「フィレンツェの思い出」Op.70</td></tr>
<tr><td rowspan="6">4</td><td>公演名</td><td>新春！デキシーランド・ジャズ・ジャンボリーVol.13</td><td rowspan="5"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 1 月 9 日（土）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>大ホール</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席指定　　S 席 5,500 円
A 席 5,000 円　E 席 1,500 円
オンライン視聴料　2,000 円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>232 人【定員 600 人】
※ホール収容定員の半数を定員として記載したものである。</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">一般社団法人日本ポピュラー音楽協会主催によるビッグバンドジャズコンサート。緊急事態宣言再発出後の公演だったが、日本のデキシージャズ界の巨匠たちが古き良き時代の名曲を演奏し、客席は大いに盛り上がった。なお、公演の模様をアーカイブ（5 日間）として配信（オンライン視聴券は 23 枚販売、視聴回数は 110 回）した。
【出演】有馬靖彦とデキシージャイブ、デキシーキャッスル、中川喜弘とデキシーサミット、外山喜雄とデキシーセインツ、薗田憲一とデキシーキングス。</td></tr>
</table>

※中止となった公演

★	公演名	気になる三人かい・・・桃月庵白酒・柳家三三・春風亭一之輔	★中止
	公演日	令和２年４月 14 日（火）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	柳の家の三人会	★中止
	公演日	令和２年７月７日（火）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	第８回めぐろバレエ祭り	★中止 ※　１公演のみ別日程で開催
	公演日	令和２年８月５日（水）～10 日（月・祝）	
	会　場	大ホール・小ホール・諸室	
★	公演名	“Xenakis et le Japon 2020 in Tokyo”クセナキスと日本 「18 人のプレイアデス」	★中止
	公演日	令和２年８月 21 日（金）	
	会　場	大ホール・小ホール	
★	公演名	ジャズ・ワールドビート 2020	★中止
	公演日	令和２年 10 月 11 日（日）	
	会　場	大ホール・小ホール	
★	公演名	コンドルズの遊育計画 2020	★中止
	公演日	令和２年 10 月 24 日（土）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	上原理生コンサート	★中止
	公演日	令和２年 11 月 21 日（土）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	キエフ・バレエータラス・シェフチェンコ記念ウクライナ国立バレエー 「くるみ割り人形」（全２幕）	★中止
	公演日	令和２年 12 月 23 日（水）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	ローマ・イタリア管弦楽団 映画音楽名曲選	★中止
	公演日	令和３年１月 17 日（日）	
	会　場	大ホール	

2 地域の芸術文化･支援事業

(1)主催事業 (1事業＝3公演　※ 1事業中止)

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1
①</td><td>公演名</td><td>未来の音シリーズ vol.31
チェルカトーレ弦楽四重奏団</td><td rowspan="5"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和2年9月26日（土）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>大ホール</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席指定　2,500円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>245人【定員329名】
※大ホール1階席収容定員（658名）の半数を定員として記載したものである。</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">新進気鋭の若手演奏家が出演する「未来の音」シリーズ。感染症対策のため、小ホールから大ホールに会場を変更し、1階席のみ使用した。
イタリア語で「探求者」を表す「チェルカトーレ」をグループ名とした弦楽四重奏団が意欲的なプログラムで臨んだ。
【出演】関朋岳（ヴァイオリン）、戸澤采紀（ヴァイオリン）、中村詩子（ヴィオラ）、牟田口遥香（チェロ）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">1
②</td><td>公演名</td><td>未来の音シリーズ vol.30
佐藤晴真（チェロ）</td><td rowspan="5"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和2年10月4日（日）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>大ホール</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席指定　2,500円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>190人【定員329名】
※大ホール1階席収容定員（658名）の半数を定員として記載したものである。</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">令和2年3月14日の延期公演として開催。感染症対策のため、小ホールから大ホールに会場を変更し、1階席のみ使用した。
ミュンヘン国際音楽コンクールのチェロ部門で日本人として初めて優勝したチェリスト・佐藤晴真が個性的なプログラムで挑んだ。（ピアニスト：大伏啓太）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">1
③</td><td>公演名</td><td>未来の音シリーズ vol.32
森田啓佑（チェロ）</td><td rowspan="5"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和2年12月27日（日）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>小ホール</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席指定2,500円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>84人【定員100名】
※ホール収容定員の半数を定員として記載したものである。</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">高校2年生の時に第68回全日本学生音楽コンクールと第83回日本音楽コンクールを史上初の同時制覇し、現在はドイツで研鑽を積む森田啓佑が、こだわりのプログラムを堂々と披露した。（ピアニスト：鈴木慎崇）</td></tr>
</table>

※中止となった公演

★	公演名	第 9 回めぐろパーシモンホール 避難訓練コンサート	★中止
	公演日	令和 2 年 4 月 25 日（土）	
	会　場	大ホール	

(2) 共催事業（1事業＝1公演　※ 15 事業中止）

1	公演名	第 78 回全国舞踊コンクール	
	公演日	令和 3 年 3 月 24 日（水）～ 4 月 5 日（月）	
	会　場	大ホール	
	料金等	関係者のみ	
	概　要	旧目黒区公会堂の開館時から開催され、日本を代表する舞踊家を多数輩出している東京新聞主催の舞踊の全国大会。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、無観客公演として実施した。	

※中止となった公演

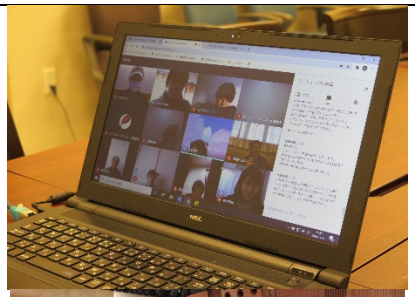
★	公演名	目黒区東山オーケストラ第 26 回 定期演奏会 スプリングコンサート	★中止
	公演日	令和 2 年 4 月 12 日（日）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	第 17 回めぐろクラシックセレクション 目黒区クラシック音楽家協会コンサート	★中止
	公演日	令和 2 年 4 月 26 日（日）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	東京インターアーツ目黒 和草（にこぐさ）コンサート	★中止
	公演日	令和 2 年 5 月 16 日（土）	
	会　場	中目黒 GT プラザホール	

★	公演名	目黒ユネスコ　チャリティコンサート 2020　GONTITI	★中止
	公演日	令和２年５月 22 日（金）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	目黒吹奏楽団　第 40 回記念定期演奏会	★中止
	公演日	令和２年６月７日（日）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	第 77 回全国舞踊コンクール アンコール公演	★中止
	公演日	令和２年６月 13 日（土）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	第 67 回児童舞踊合同公演	★中止
	公演日	令和２年６月 14 日（日）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	伝統文化「狂言」に親しむ	★中止
	公演日	令和２年６月 20 日（土）	
	会　場	小ホール	
★	公演名	東京マンドリン宮田楽団 第 139 回定期演奏会	★中止
	公演日	令和２年７月４日（土）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	第 18 回パーシモンほたる祭り	★中止
	公演日	令和２年７月 12 日（日）	
	会　場	大ホール・小ホール	
★	公演名	情熱の踊り「フラメンコ」に親しむ	★中止
	公演日	令和２年８月 22 日（土）	
	会　場	小ホール	

★	公演名	第 27 回 めぐろ童謡コンサート	★中止
	公演日	令和 2 年 10 月 18 日（日）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	目黒区民交響楽団 第 92 回定期演奏会	★中止
	公演日	令和 2 年 11 月 29 日（日）	
	会　場	大ホール	
★	公演名	身体で聴こう音楽会	★中止
	公演日	令和 2 年 12 月 19 日（土）	
	会　場	小ホール	
★	公演名	北野財団混成合唱団 第 3 回チャリティーコンサート	★中止
	公演日	令和 3 年 3 月 7 日（日）	
	会　場	小ホール	
★	公演名	親子のためのふれあいコンサート 2021	★中止
	公演日	令和 3 年 3 月 20 日（土・祝）	
	会　場	小ホール	
★	公演名	第 18 回めぐろクラシックセレクション 目黒区クラシック音楽家協会コンサート	★中止
	公演日	令和 3 年 3 月 21 日（日）	
	会　場	大ホール	

3 体験･普及事業

(1)主催事業(3 事業＝28 公演　※ 2 ワークショップ中止)

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">1</td><td>公演名</td><td>子どものためのワークショップ 2020
【特別編】オンライン演劇ワークショップ　「地球から遠く離れて」</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 8 月 9 日（日）、8 月 12 日（水）、8 月 14 日（金）全 3 回</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>参加費　750 円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>参加者　7 人
【定員 10 名・応募者 10 名】</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">新型コロナウイルス感染拡大の影響から通常のワークショップを中止し、ホールにとって初となるオンラインを使って開催した演劇ワークショップ。
オンライン会議システムを使ってホールから配信し、参加者は自宅、学校から参加した。講師がオンラインに適したテキストを考案し、事前に関係者による模擬ワークショップを数回行ったうえで、ワークショップを開催した。
【対象者】中学 1 年生から高校 3 年生
【講師】　大池容子（劇作家・演出家・うさぎストライプ主宰・アトリエ春風舎芸術監督）、ファシリテーター：吉田雅人、金澤昭（青年団）
【協賛】　（公財）北野生涯教育振興会
【協力】　有限会社アゴラ企画</td></tr>
<tr><td rowspan="5">2</td><td>公演名</td><td>物語を描く 大人の演劇ワークショップ</td><td rowspan="4"> 
 </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 9 月 12 日（土）～
令和 2 年 12 月 13 日（日）全 8 回
（8 回のうち 5 回はオンライン開催）</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>参加費　3,000 円</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>参加者　10 人(抽選)
【定員 10 名・応募者 40 名】</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">オンラインを取り入れた今回は、「オリンピック」をテーマに戯曲や小説、絵本など自分にあった表現方法でオリジナルの物語を作るワークショップを開催した。
オンライン会議の他に、課題の作成や提出ができるオンラインシステムを活用しながら創作活動を進めていき、最終的に出来上がった作品はホールホームページにて発表した。
全 8 回の内 3 回は対面でのワークショップも実施したが、物語を作るうえで重要なポイントを、ゲームを通して学ぶ機会もあり、オンラインと交互に行うことで内容もさらに充実し、参加者の交流も深めることができた。
【対象者】18 歳以上
【講師】　柴幸男（劇作家・演出家・ままごと主宰）＋ままごと</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">3
①</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 10 月 1 日（木）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立東根小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 6 年生 93 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、伊藤舜（ホルン）、小篠和弥（トロンボーン）、山﨑勇太（チューバ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
②</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 10 月 22 日（木）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立不動小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 5 年生 112 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、豊田実加（ホルン）、小篠和弥（トロンボーン）、山﨑勇太（チューバ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
③</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 11 月 6 日（金）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立宮前小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 6 年生 58 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】松田理奈（ヴァイオリン）、實川風（ピアノ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【共催】NPO 法人子どもに音楽を
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">3
④</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 11 月 9 日（月）
①10 時 50 分　②11 時 50 分</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立中目黒小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 6 年生 120 人
※2 回に分けて実施</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】白井圭（ヴァイオリン）、吉野直子（ハープ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【共催】NPO 法人子どもに音楽を
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑤</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 11 月 12 日（木）
①11 時 30 分②13 時 15 分③14 時</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立菅刈小学校　音楽室</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 5、6 年生 80 人
※3 回に分けて実施</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】南紫音（ヴァイオリン）、山中惇史（ピアノ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【共催】NPO 法人子どもに音楽を
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑥</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 11 月 13 日（金）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立げっこうはらこども園</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>3 歳児～5 歳児　78 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】中丸達也（打楽器）、宮本まいこ（スティールパン）、宮野下シリュウ（マリンバ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑦</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 11 月 19 日（木）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立緑ヶ丘小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 5 年生 43 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】向山佳絵子（チェロ）、広海滋子（ピアノ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【共催】NPO 法人子どもに音楽を
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑧</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 12 月 1 日（火）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立駒場小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 6 年生 60 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】熱帯 JAZZ 楽団
カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース）
荒川琢哉（コンガ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑨</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 12 月 10 日（木）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立第一中学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>中学 3 年生 54 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】熱帯 JAZZ 楽団
カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース）
荒川琢哉（コンガ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑩</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 12 月 15 日（火）
①13 時 40 分　②14 時 35 分</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立五本木小学校　音楽室</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 4 年生 66 人
※2 回に分けて実施</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】川田知子（ヴァイオリン）、入江一雄（ピアノ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【共催】NPO 法人子どもに音楽を
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑪</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 12 月 16 日（水）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立烏森小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 5 年生 64 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】荒牧小百合（ソプラノ）、春日保人（バリトン）、津島圭佑（ピアノ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会
【協賛】（公財）北野生涯教育振興会
【企画・協力】NPO 法人日本声楽家協会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑫</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 12 月 17 日（木）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立原町小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 5、6 年生 90 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】熱帯 JAZZ 楽団
カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース）
荒川琢哉（コンガ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">3
⑬</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 12 月 21 日（月）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立緑が丘児童館 音楽室</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>目黒区立みどりがおかこども園の
3 歳児～5 歳児　90 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】中丸達也（打楽器）、宮本まいこ（スティールパン）、宮野下シリュウ（マリンバ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑭</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 1 月 14 日（木）
①10 時 50 分　②11 時 50 分
②13 時 40 分　④14 時 40 分</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立第十中学校　音楽室</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>中学 2 年生 124 人
※4 回に分けて実施</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】白石光隆（ピアノ）、礒絵里子（ヴァイオリン）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑮</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 1 月 18 日（月）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立油面小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 4 年生 88 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】佐藤晴真（チェロ）、秋山紗穂（ピアノ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【共催】NPO 法人子どもに音楽を
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
</table>

3 ⑯	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和３年１月 19 日（火）	
	会　場	目黒区立下目黒小学校　体育館	
	入場者	小学５年生 60 人	
	概　要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動 【出演】熱帯 JAZZ 楽団 カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース） 荒川琢哉（コンガ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会	
3 ⑰	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和３年２月８日（月）	
	会　場	目黒区立鷹番小学校　体育館	
	入場者	小学６年生 74 人	
	概　要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動 【出演】白井圭（ヴァイオリン）、伊藤恵（ピアノ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【共催】NPO 法人子どもに音楽を 【後援】目黒区教育委員会	
3 ⑱	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和３年２月８日（月）	
	会　場	目黒区立向原小学校　体育館	
	入場者	小学５年生 43 人	
	概　要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動 【出演】藤井冴（ソプラノ）、小林大祐（バリトン）、大野真由子（ピアノ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会 【企画・協力】NPO 法人日本声楽家協会 【協賛】（公財）北野生涯教育振興会	

<table>
<tr><td rowspan="5">3
⑲</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 2 月 9 日（火）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立上目黒小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 5、6 年生 55 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】熱帯 JAZZ 楽団
カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース）
荒川琢哉（コンガ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
⑳</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 2 月 16 日（火）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立東山小学校　多目的スペース</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 6 年生 160 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】小山豊（津軽三味線　小山流三代目）、小湊昭尚（尺八）、大多和正樹（和太鼓）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
㉑</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 2 月 18 日（木）
①11 時 50 分　②13 時 50 分</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立月光原小学校　音楽室</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 6 年生 46 人
※2 回に分けて実施</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】山崎伸子（チェロ）、沼沢淑音（ピアノ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【共催】NPO 法人子どもに音楽を
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">3
㉒</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 2 月 22 日（月）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立碑小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 6 年生 120 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】読売日本交響楽団メンバー
田中敏雄（トランペット）、尹千浩（トランペット）、久永重明（ホルン）
桒田晃（トロンボーン）、次田心平（チューバ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
㉓</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 2 月 22 日（月）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立八雲小学校　体育館</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>小学 4、5 年生 143 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、豊田実加（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山﨑勇太（チューバ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
<tr><td rowspan="5">3
㉔</td><td>公演名</td><td>めぐろパーシモンホール
アウトリーチプログラム</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 3 月 3 日（水）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区立ひがしやま幼稚園　遊戯室</td></tr>
<tr><td>入場者</td><td>4、5 歳児 62 人</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">区内小中学校等へのアウトリーチ活動
【出演】中丸達也（パーカッション）、宮本まいこ（スティールパン）、宮野下シリュウ（マリンバ）
【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会
【後援】目黒区教育委員会</td></tr>
</table>

3 ㉕	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和３年３月９日（火）	
	会　場	目黒区立第十一中学校　体育館	
	入場者	中学３年生 80 人	
	概　要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動 【出演】渡辺玲子（ヴァイオリン）、大須賀恵里（ピアノ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【共催】NPO 法人子どもに音楽を 【後援】目黒区教育委員会	
3 ㉖	公演名	めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	
	公演日	令和３年３月 10 日（水）	
	会　場	目黒区立第八中学校　体育館	
	入場者	中学２年生 102 人	
	概　要	区内小中学校等へのアウトリーチ活動 【出演】鵜木絵里（ソプラノ）、布施雅也（テノール）、松本康子（ピアノ） 【助成】文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】（公財）北野生涯教育振興会 【企画・協力】NPO 法人日本声楽家協会	

※中止となったワークショップ

★	公演名	子どものためのワークショップ 2020 演劇入門ワークショップ	★中止
	公演日	令和２年６月７日（日）	
	会　場	小ホール	
★	公演名	子どものためのワークショップ 2020 ダンスワークショップ＋発表会	★中止
	公演日	令和２年７月 27 日（月）～29 日（水）	
	会　場	小ホール	

令和２年度 めぐろパーシモンホールアウトリーチプログラム 実績一覧

NO	月／日	施設名	参加者	出演者
1	10 月 1 日(木)	東根小学校	6 年生 93 人	原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、 伊藤舜（ホルン）、小篠和弥（トロンボーン）、 山﨑勇太（チューバ）
2	10 月 22 日(木)	不動小学校	5 年生 112 人	原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、 豊田実加（ホルン）、小篠和弥（トロンボーン）、 山﨑勇太（チューバ）
3	11 月 6 日(金)	宮前小学校	6 年生 58 人	松田理奈（ヴァイオリン）、實川風（ピアノ）
4	11 月 9 日（月）	中目黒小学校	6 年生 120 人	白井圭（ヴァイオリン）、吉野直子（ハープ）
5	11 月 12 日（木）	菅刈小学校	5、6 年生 80 人	南紫音（ヴァイオリン）、山中惇史（ピアノ）
6	11 月 13 日(金)	げっこうはら こども園	3～5 歳児 78 人	中丸達也（打楽器）、宮本まいこ（スティールパン）、宮野下シリュウ（マリンバ）
7	11 月 19 日（木）	緑ヶ丘小学校	5 年生 43 人	向山佳絵子（チェロ）、広海滋子(ピアノ)
8	12 月 1 日（火）	駒場小学校	6 年生 60 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝（ピアノ）、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
9	12 月 10 日（木）	第一中学校	3 年生 54 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝（ピアノ）、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
10	12 月 15 日（火）	五本木小学校	4 年生 66 人	川田知子（ヴァイオリン）、入江一雄（ピアノ）
11	12 月 16 日（水）	烏森小学校	5 年生 64 人	荒牧小百合（ソプラノ）、春日保人（バリトン）、 津島圭佑（ピアノ）
12	12 月 17 日（木）	原町小学校	5、6 年生 90 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝（ピアノ）、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
13	12 月 21 日（月）	みどりがおか こども園	3～5 歳児 90 人	中丸達也（打楽器）、宮本まいこ（スティールパン）、宮野下シリュウ（マリンバ）
14	1 月 14 日(木)	第十中学校	2 年生 124 人	白石光隆（ピアノ）、礒絵里子（ヴァイオリン）
15	1 月 18 日(月)	油面小学校	4 年生 88 人	佐藤晴真(チェロ)、秋山紗穂（ピアノ）
16	1 月 19 日(火)	下目黒小学校	5 年生 60 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝（ピアノ）、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)

NO	月／日	施設名	参加者	出演者
17	2 月 8 日(月)	鷹番小学校	6 年生 74 人	白井圭(ヴァイオリン)、伊藤恵(ピアノ)
18	2 月 8 日(月)	向原小学校	5 年生 43 人	藤井冴(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、大野真由子(ピアノ)
19	2 月 9 日(火)	上目黒小学校	5、6 年生 55 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、 澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
20	2 月 16 日(火)	東山小学校	6 年生 160 人	小山豊 (津軽三味線 小山流三代目)、小湊昭尚 (尺八)、大多和正樹 (和太鼓)
21	2 月 18 日(木)	月光原小学校	6 年生 46 人	山崎伸子(チェロ)、沼沢淑音(ピアノ)
22	2 月 22 日(月)	碑小学校	6 年生 120 人	読売日本交響楽団メンバー 田中敏雄(トランペット)、尹千浩(トランペット)、久永重明(ホルン)、栗田晃(トロンボーン)、次田心平(チューバ)
23	2 月 22 日(月)	八雲小学校	4、5 年生 143 人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、 豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、 山崎勇太(チューバ)
24	3 月 3 日(水)	ひがしやま 幼稚園	4、5 歳児 62 人	中丸達也(パーカッション)、宮本まいこ(スティールパン)、宮野下シリュウ(マリンバ)
25	3 月 9 日(火)	第十一中学校	3 年生 80 人	渡辺玲子(ヴァイオリン)、大須賀恵里(ピアノ)
26	3 月 10 日(水)	第八中学校	2 年生 102 人	鵜木絵里(ソプラノ)、布施雅也(テノール)、松本康子(ピアノ)

(合計 26 施設／2,165 人)
(小学校 19 校、中学校 4 校、幼稚園1園、こども園 2 園)

4 芸術文化情報の収集と発信

主催事業の周知や地域の芸術文化活動を活発化させるため、情報紙の発行やSNS等、様々な媒体を活用しながら、利用者にとってより分かりやすい芸術文化関連情報の提供に努めた。

(1)情報紙「アートレター」の発行

号数	発行日	発行部数	新聞折込(部数)
VOL.72 夏号	令和 2 年 7 月 5 日	80,000 部	72,000 部
VOL.73 秋号	令和 2 年 10 月 4 日	80,000 部	72,000 部
VOL.74 冬号	令和 2 年 1 月 5 日	80,000 部	72,000 部
VOL.75 春号	令和 3 年 3 月 21 日	80,000 部	72,000 部

アートレターの紙面は、8 ページ構成のカラーで発行している。内容も公演情報だけではなく、出演者へのインタビュー記事を掲載する等、公演の特色を分かりやすく紹介している。

(2)広報一覧　★は今年度新たに実施した広報

広報媒体		目的・結果等
自社媒体	情報紙 「アートレター」	出演者へのインタビュー記事や、新型コロナウイルス感染症対策として工夫しながら実施した事業の報告など企画ページを充実させている。また、希望者には個人発送も実施し、周知に努めている。 【個人発送】781 人　※前年度より 40 人増
	ホームページ	利用者にとってより分かりやすいホームページとなるよう一部改善した。 【全体アクセス数】513,267　※前年度 818,081
	SNS	SNSを効果的に活用し、チケットの販売促進やホール PR に繋げている。公演の雰囲気が伝わるような写真や動画をアップし、引き続き、拡散したくなるような素材について工夫していく。 【Twitter】投稿:149 件　フォロワー数 482 人 ※前年度より 103 人増 【Facebook】投稿:112 件　フォロワー数 515 人 ※前年度より 52 人増
	YouTube(動画)	【チャンネル登録者数】114 人【動画投稿数】3 件 ・フレッシュ名曲コンサート・指揮・原田慶太楼 メッセージ動画(148 回視聴) ・フレッシュ名曲コンサート・公演ダイジェスト動画(2,087 回視聴) ・施設紹介動画(144 回視聴)
	メールマガジン	各事業のチケット発売に合わせて配信するほか、チケット購入者への払い戻し案内等でも活用した。 【配信】19 件 【登録者数】5,265 人　※前年度より 690 人増

他社媒体	めぐろ区報 各区内施設	区報に情報を掲載し、且つチラシの配架やポスターの掲示を行った。
	他施設等	他のホールや図書館、出版社、お店等にチラシ等を配布し、幅広い方々に周知した。
	都立大学駅前 ポスター掲出	通年で 1 ヶ所掲出した。各事業のポスターを掲出し、駅利用者に周知した。
	目黒区内及び近接の 駅構内(16 駅)	目黒区内及び近接の駅構内に情報紙「アートレター」を配架した。
	駅構内 ポスター掲出	東急電鉄等の主要駅構内に B1版のポスターを掲出した。 掲示駅は、中目黒駅、みなとみらい駅、池袋駅。 掲出期間は、1/18～1／24(フレッシュ名曲コンサート)
	★みなとみらい線 馬車道駅 ホームドアビジョン掲出	ホームドアビジョンの広告を初めて実施した。施設へのアクセスも便利な横浜市内の客層に向けて施設と事業(フレッシュ名曲コンサート、Jazz、めぐろで第九)の 30 秒の PR 動画を制作した。掲出期間は 1/1～1/30
	音楽雑誌広告	①【ぶらあぼ】 9 月号、11 月号に複数事業をまとめて掲載した。出稿サービスとして一部の事業を公演紹介記事として掲載した。 ②【モーストリー・クラシック】 8 月号にて「未来の音 vol.31」を掲載した。
取材対応等	★音楽雑誌 「サラサーテ」	【サラサーテ vol.96(10/1 発行)】 「未来の音」の出演者である森田啓佑(チェロ)のインタビュー記事を掲載した。また、同時期に発行を予定していた情報紙「アートレター」秋号とも連携してインタビュー記事を執筆頂いた。同公演のレビュー記事も別号にて掲載した。
	★出演者 YouTube 番組	【Music Today Op.92 原田慶太楼＆小井土文哉(8/24 ライブ配信)】 「フレッシュ名曲コンサート」の出演者・原田慶太楼(指揮)が配信している YouTube 番組「Music Today」にて、本事業の共演者・小井土文哉(ピアノ)との対談を実施した。
	★NHK-FM 「ベストオブクラシック」	【NHK-FM 「ベストオブクラシック」東京六人組 演奏会(2/5 放送)】 NHK-FM より「東京六人組」公演を放送したいとの依頼があり、事業のさらなる周知に努めた。
	★施設紹介動画	目黒区近隣の地域情報や舞台などのエンタメ情報を掲載しているフリーマガジン「情報紙ターミナル」が発行している(株)ERIZUN 制作のもと、施設紹介動画とレポート動画を作成した。
	区からプレスリリース	事業終了後、区から各プレスに事業報告をリリースした。 美術館と共同で実施した「音楽家の引き出し」では、目黒区動画ニュースでも取り上げられ、ケーブルテレビ「イッツコム」などで放映された。

5 その他

(1) めぐろパーシモン芸術文化ネットワークの取組

めぐろパーシモン芸術文化ネットワークは、当財団と共催して事業を行っている 5 団体（目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐろ保存会、目黒区クラシック音楽家協会）が、目黒区の芸術文化の振興を図ることを目的として、平成 23 年 10 月に発足した。

例年は、公演に際し、相互に協力しながら、めぐろパーシモンホールのロビー（ホワイエ）周りでの案内など支援を行い、集客力の強化にも寄与しているが、今年度は来年度の公演の実施に向けて、新型コロナウイルス感染症対策等の意見交換を行った。

(2)ホールの協賛等の運営

① 賛助会

ホールの賛助会については、前年度の 29 社、個人会員 21 人、計 860,000 円の収入に対し、今年度は 24 社、個人会員 19 人、計 731,000 円の収入となり、前年度より 129,000 円の減収となった。

② 協賛

企業も芸術文化の担い手であり、企業に参加の機会を提供することで、以下のとおり、各企業と協力関係を構築することができたが、協賛数は減少した。

子どものためのワークショップ事業及びアウトリーチ事業では、前年度に引き続き、（公財）北野生涯教育振興会に協賛金を頂き、継続的な資金調達に努めた。

事業名	協賛企業	協賛内容
新春落語二人会 春風亭昇太・春風亭一之輔	昭和製菓（株） 自由が丘 蜂の家	お菓子

③ 助成金

事業名	協賛企業	助成金額
フレッシュ名曲コンサート	（公財）東京都歴史文化財団	3,300,000 円
めぐろパーシモンホール アウトリーチプログラム	独立行政法人日本芸術文化振興会	168,000 円
めぐろで第九 2020	独立行政法人日本芸術文化振興会	65,000 円
感染症防止対策助成金	文化庁	233,000 円

④ 情報紙「アートレター」における広告料収入

今年度は前年度比 245,000 円減の合計 742,000 円だった。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、前年度と比べて大幅な減収となったが、安定した収入源であるため、今後も読者に対して魅力ある情報紙「アートレター」の制作に取り組んでいく。

(3) 地域と連携した事業

① 顧客サービス

地域の活性化やチケット販売促進を視野に入れながら、ホールと商店街が連携した顧客サービスを平成 21 年度当初、15 店舗の協力で開始した。

この制度は「パーシモンチケ得マップ」に記載されているお店に財団主催または共催事業のチケットを持参すれば、各店舗からサービスの特典が得られるものである。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、飲食店を中心に大変な状況だったが、昨年度に引き続

き、28 店舗の協力を得られている。加盟店には店頭にオリジナルの加盟店シールを貼っていただくことで、事業の周知を図っている。なお、加盟店にはホールの広報に協力して頂いている。

② 広報ボランティア

新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、今年度は新たに広報ボランティアを募集せず、引き続き、17 名（前年度は 21 名）の参加があった。感染の拡大が収まらなかったため、一度も集まることができなかったが、主催事業に関する情報をメールで説明し、その内容を口コミで知り合いに広めて頂いた。また、広報して頂ける店舗にチラシの配布を行ったため、ホール職員の広報活動をサポートして頂いた。

③ 商店街との連携

平成 30 年度、東京都産業労働局が主催する「第 14 回東京商店街グランプリ（商店街の優れた取組を表彰・紹介）」に、都立大学商店街連合会（とりつじん実行委員会）がグランプリを受賞、そして令和元年度も都立大学商店街連合会を構成する商店街が、第 15 回東京商店街グランプリで準グランプリを受賞したことにより、今年度もパネル展を開催し、商店街のPRに貢献した。

第2 受託事業（定款第 4 条第 1 項第 2 号・第 3 号）及びその他事業（定款第 4 条第 2 項）

1 芸術文化事業

（1）受託事業 （1事業＝1関連イベント ※ 2 事業中止）

＊目黒区の委託を受けた事業であったが、2 事業が中止となった。

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">★</td><td>公演名</td><td>第 55 回 目黒区文化祭</td><td rowspan="3">★中止</td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 4 月 4 日（土）～
11 月 22 日（日）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>大ホール・小ホール・美術館ギャラリー</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、目黒区文化祭を実施しているが、中止となった。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">★</td><td>公演名</td><td>めぐろオータムアート</td><td rowspan="3">★中止</td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年秋頃</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>・目黒区美術館ワークショップ室
・旧前田家本邸洋館</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">芸術文化をきっかけとした“人とのつながり”や“豊かなコミュニケーション”の輪のことを目黒区では「文化縁」と呼んでいるが、この文化縁を広げる機会をより多くの人に提供するため、区と財団（ホール、美術館）で連携して事業を行っているが、中止となった。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">1</td><td>公演名</td><td>東日本大震災復興支援コンサート
関連企画　気仙沼漁師カレンダー展</td><td rowspan="4"> </td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 3 年 1 月 15 日（金）～
3 月 14 日（日）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>めぐろ区民キャンパス地下 1 階プラザ</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>観覧無料</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">宮城県気仙沼市の女将たちが街の宝を発信したいという思いから誕生した「気仙沼漁師カレンダー」(写真家 幡野広志・第 72 回全国カレンダー展 経済産業大臣賞　受賞)。カレンダーを企画した「気仙沼つばき会」の活動にも焦点をあてたカレンダー展を開催した。なお、東日本大震災復興支援コンサートは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となった。</td></tr>
</table>

(2)指定管理事業 （※ 1事業中止）

<table>
<tr><th>No.</th><th colspan="3">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">1</td><td>公演名</td><td>めぐろで第九 2020</td><td rowspan="4">★中止</td></tr>
<tr><td>公演日</td><td>令和 2 年 6 月 28 日（日）</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>大ホール</td></tr>
<tr><td>料金等</td><td>全席指定
S 席 3,500 円　A 席 2,500 円</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td colspan="2">【出演】大井剛史（指揮）、日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）
嘉目真木子（ソプラノ）、中島郁子（メゾソプラノ）、宮里直樹（テノール）
加藤宏隆（バスバリトン）
公募によるめぐろ第九合唱団（合唱指導：阿部純、浅井隆仁）
【助成】独立行政法人日本芸術文化振興会</td></tr>
<tr><td>2</td><td>公演等</td><td>めぐろで第九 2020 は、令和 3 年 6 月 20 日（日）に延期することとし、公演名を「めぐろで第九 2020＋１」に変更した。
区民合唱団（22 名）の練習は、令和 3 年 3 月から始動し、3 月中はオンラインでの講座（4 回）を実施した。</td><td> </td></tr>
</table>

２ 施設貸与・管理事業

（１）施設の保守管理等

職員による日常点検や始業終業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検を実施し、安全を確保しながら、利用者に使いやすい施設・設備の提供を行った。また、保守管理業者からの報告は、随時、財団から目黒区に報告し、情報の共有を図った。

平成 14 年 9 月 20 日に開館してから 18 年が経過し、機器類の劣化による部品交換等に関し、目黒区に適宜要望してきた結果、令和 2 年度は①音響関係機器更新工事（小ホール）、②舞台機構部品交換工事（小ホール）、③カーリフトのシリンダー交換工事（大ホール）を行った。

その他の不具合については、予算の範囲内で修繕し、利用者の安全・安心の確保に努めた。

なお、小ホールホワイエ天井の雨漏り対応については目黒区が修繕を行ったが、その後、ホワイエ天井内の排水管から漏水が生じ、ホワイエ天井から床に排水が流れ出る不具合が生じた。現在は応急処置を行い、水は止水しているが、令和 3 年度、改めて目黒区と協議をしていく。

今後、大ホール客席 2 階エレベーターの新設や、和式トイレから洋式トイレへの変更について、引き続き、目黒区に要望していく。

① めぐろパーシモンホール

ア 舞台機構保守点検
イ 舞台照明保守点検
ウ 開閉天井照明保守点検
エ 舞台音響保守点検
オ 客席椅子保守点検
カ エレベーター・リフト保守点検
キ スタインウェイピアノ保守点検
ク ヤマハピアノ保守点検

② 中目黒ＧＴプラザホール

ア 音響保守点検　イ 照明保守点検　ウ ヤマハピアノ保守点検

（２）貸館サービス

① 新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応

ア 施設利用ガイドラインを作成し、利用者に周知した。
イ 消毒液等を設置するとともに、楽屋の椅子や机の配置の変更等を行い、コロナ禍における環境整備に努めた。
ウ 施設利用抽選を事前申込み制に変更した。また、利用申請期限や利用料還付期限を延長した。
エ 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、大ホールのクロークサービスを休止しているが、新たにコインロッカーを購入し、利用者サービスの向上に努めた。

② 新規事項

ア ピアノ（スタインウェイ）１台をオーバーホールし、利用者サービスの向上に努めた。
イ めぐろパーシモンホールと同様に、中目黒ＧＴプラザホールにおいても施設利用料の振込と、還付の受付を開始した。
ウ 今までは商品直売を行う場合の施設利用料は、一般団体利用料金の 150％相当額だったが、令和 2 年 10 月 1 日利用分から、催し物の主たる内容が商品直売に当たらない場合は増額対象外とした。
エ 収録撮影がある場合は、可能な限り、ホール名の記載を主催者に依頼するようにし、ホールの周知及び施設利用の促進に努めた。

③ 継続事項

ア チケット販売の代行サービスを行っているが、今年度は 4 件の依頼があった（昨年度は 23 件）。

イ　利用者等の要望について情報の共有化に努め、迅速な対応を図るため、舞台及び受付窓口の連絡会を定例化して、毎月開催した。

ウ　貸館の利用毎に利用者アンケートを実施する等、利用者の意向を把握し、利用者の立場と目線による接遇を窓口サービスの基本に据え、利用者にはいつも親切・丁寧・明るい窓口対応を心掛けた。特に、施設利用料金やチケット料金の返金対応については丁寧な対応を行った。

エ　顧客満足度による評価

年度	令和２年度	令和元年度	平成３０年度
総件数	９５件	１５３件	１６４件
評価	４．３６	３．９５	４．０５

※施設利用者に対して、「施設利用」の内容、スタッフの応対、施設及び設備の快適性等について、「良い」・「やや良い」・「普通」・「やや悪い」・「悪い」の５段階評価（５点満点）をしていただき、回答を集計している。

（３）職場訪問等の受け入れ

① 学校の受け入れ

例年、区立中学校等の職場訪問や職場体験に協力している。内容としては、公演の準備・撤去の手伝いや受付窓口の事務作業が中心であり、財団主催事業の開催日程に該当した中学校については、会場設営から本番、片付けの手伝いを体験してもらっているが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、希望がなかった。

② 視察の受け入れ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受け入れ希望がなかった。

③ インターンの受け入れ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受け入れ希望がなかった。

（４）収益事業

公益事業に資する収益事業として販売手数料及び自動販売機設置（１３台）手数料での収入確保に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響によるホール利用の減少により、減収となった。

（５）危機管理体制

① 新型コロナウイルス感染拡大の対応

・手洗いうがいの励行、アルコール消毒液の設置等を行った。
・窓口・打合せスペースに、アクリル板を設置した。
・施設利用後に、消毒を行った。
・諸室に飛沫拭き取り用清掃用具を設置した。

② 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、自衛消防訓練ができなかったため、改めて「火災時の対応マニュアル」を全職員で情報共有を図った。

③ 目黒区危機管理室防災課発行の「避難所における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を全職員が確認した。

④ 地域避難所運営協議会に新たに加入し、地域や近隣施設の方と避難所の運営について意見交換を行った。また、令和 2 年 11 月 28 日「めぐろ区民キャンパス避難所運営訓練」に初めて参加した。

⑤ 目黒区文化ホール危機管理マニュアル 「地震マニュアル」の貸館利用者への配布を令和 3 年 2 月 17 日から開始した。

補 足 資 料

1　利用実績

施設名	年度	開館日数	全体利用率			時間帯別利用率			曜日別利用率	
			予約可能件数（件）	利用件数（件）	利用率（%）	午前（%）	午後（%）	夜間（%）	平日（%）	土・日祝日（%）
大ホール	2年度	302	668	332	49.7	54.6	55.0	40.8	43.9	58.1
	元年度	358	679	544	80.1	86.5	88.2	67.1	73.0	89.9
小ホール	2年度	300	593	308	51.9	56.2	56.2	44.4	49.9	55.1
	元年度	358	895	719	80.3	80.4	84.1	76.6	77.2	85.3
中目黒GTプラザホール	2年度	291	806	379	47.0	53.4	56.7	31.0	44.2	52.3
	元年度	334	934	843	90.3	81.9	90.6	98.1	88.8	92.9

2　利用ジャンル別集計

ジャンル	大ホール		小ホール		リハーサル室など諸室		中目黒ＧＴプラザホール		全施設合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
コンベンション	30	9.1%	48	15.6%	128	5.1%	46	12.1%	252	7.2%
クラシック	81	24.4%	132	42.9%	719	28.8%	121	32.0%	1,053	30.0%
ポピュラー	17	5.1%	26	8.4%	160	6.4%	13	3.4%	216	6.1%
演　劇	7	2.1%	12	3.9%	87	3.5%	5	1.3%	111	3.2%
ミュージカル	6	1.8%	0	0.0%	24	1.0%	8	2.1%	38	1.1%
舞　踊	111	33.4%	30	9.7%	385	15.4%	69	18.2%	595	16.9%
伝統芸能	10	3.0%	8	2.6%	67	2.7%	7	1.9%	92	2.6%
映　像	2	0.6%	2	0.7%	1	0.1%	0	0.0%	5	0.1%
その他	68	20.5%	50	16.2%	924	37.0%	110	29.0%	1,152	32.8%
合計	332	100%	308	100%	2,495	100%	379	100%	3,514	100%
合計（前年度）	544	100%	719	100%	4,515	100%	843	100%	6,621	100%

３　利用者別集計

利用者	大ホール		小ホール		リハーサル室等 諸室		中目黒ＧＴ ﾌﾟﾗｻﾞﾎｰﾙ		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
一般利用区内	46	13.9%	69	22.4%	767	30.7%	86	22.7%	968	27.5%
一般利用区外	136	41.0%	124	40.3%	948	38.0%	154	40.6%	1,362	38.8%
芸文登録団体	20	6.0%	47	15.3%	498	20.0%	59	15.6%	624	17.8%
公的団体	18	5.4%	11	3.6%	44	1.8%	0	0.0%	73	2.1%
財団	77	23.2%	44	14.2%	163	6.5%	3	0.8%	287	8.1%
目黒区	35	10.5%	13	4.2%	75	3.0%	77	20.3%	200	5.7%
合計	332	100%	308	100%	2,495	100%	379	100%	3,514	100%
合計(前年度)	544	100%	719	100%	4,515	100%	843	100%	6,621	100%

４　利用者数

月	大ホール			小ホール			リハーサル室等諸室	中目黒ＧＴプラザホール			合計
	入場者	関係者	計	入場者	関係者	計	利用者	入場者	関係者	計	
4月	※1 0	※1 0	※1 0	※1 0	38	38	6	※2 2,315	84	2,399	2,443
5月	※1 0	※1 0	※1 0	※1 0	※1 0	※1 0	※1 0	※1 0	※1 0	※1 0	0
6月	100	120	220	65	40	105	290	1,007	60	1,067	1,682
7月	320	208	528	358	128	486	961	※2 2,841	125	2,966	4,941
8月	400	333	733	665	401	1,066	931	103	172	275	3,005
9月	2,041	859	2,900	419	270	689	1,162	138	255	393	5,144
10月	5,941	1,999	7,940	1,344	455	1,799	1,643	234	233	467	11,849
11月	2,792	3,075	5,867	1,631	641	2,272	1,681	485	661	1,146	10,966
12月	3,617	1,236	4,853	962	593	1,555	1,233	553	711	1,264	8,905
1月	2,129	674	2,803	269	305	574	675	257	234	491	4,543
2月	3,430	624	4,054	※3 0	※3 0	※3 0	750	407	419	826	5,630
3月	4,102	2,125	6,227	1,428	586	2,014	964	649	557	1,206	10,411
合計	24,872	11,253	36,125	7,141	3,457	10,598	10,296	8,989	3,511	12,500	69,519
前年度	136,673	26,155	162,828	42,363	11,911	54,274	22,975	42,202	10,715	52,917	292,994

※１　緊急事態宣言に伴い、4月から6月中旬まで各施設を休館した。
（諸室は4月2日～6月14日、大・小ホールは4月8日～6月18日、中目黒GTプラザホールは3月7日～6月18日）

※２　選挙（区長選挙・都知事選挙）に伴い、期日前投票所として利用したため入場者数が増加した。

※３　小ホールは、令和3年1月12日～3月5日まで改修工事のため休館した。

5　利用料収納実績

（単位：円）

施設名		施設利用料	特殊器具利用料	合計
めぐろパーシモンホール	２年度	106,202,800	9,861,400	116,064,200
	元年度	110,241,030	19,526,890	129,767,920
中目黒ＧＴプラザホール	２年度	10,795,900	318,550	11,114,450
	元年度	13,782,700	720,700	14,503,400
合計	２年度	116,998,700	10,179,950	127,178,650
	元年度	124,023,730	20,247,590	144,271,320

※利用料は、各事業会計上、当該年度利用分と次年度利用分（いわゆる前受金）に分けて計上することとされているが、この表では、目黒区に倣い、利用料を収納した日の属する年度に区分して計上した。従って、正味財産増減計算書の施設利用料収益とは一致しない。

6　還付金実績

（単位：円）

区分	施設利用料	特殊器具利用料	合計	元年度合計 【前年度実績】
２年度納付分に対する還付金	27,719,935	0	27,719,935	【元年度】 26,021,618
元年度納付分に対する還付金	53,231,390	0	53,231,390	【30 年度】 2,817,150
合計	80,951,325	0	80,951,325	28,838,768

7　施設見学会開催実績

月		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
開催回数	大ホール	0	0	0	0	2	2	2
	小ホール	0	0	0	1	2	2	2
参加人数		0	0	0	3	9	1	2

月		11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	合計 （前年度）
開催回数	大ホール	2	2	1	2	2	15	17
	小ホール	2	2	1	0	2	14	24
参加人数		10	4	0	2	11	42	249

８ 個別見学対応実績

開催月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
見学回数	1	1	5	22	21	14	8

開催月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	合計 （前年度）
見学回数	16	20	5	4	7	124	126

令和2年度　目黒区美術館事業報告

★印は新型コロナウイルス感染拡大に対する活動の自粛に伴う中止又は延期した事業

第 1　自主事業(定款第4条第 1 項第1号)

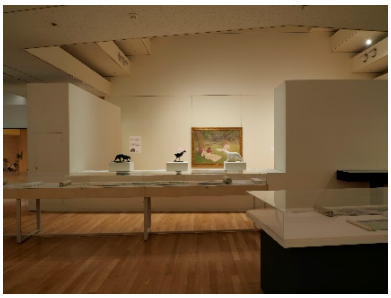
1　展覧会事業(自主企画展)

(1)	展覧会名	あそぶひとー人形と子どもの暮らし	展示風景(展示室 A)
	会　期	令和 2 年 6 月 20 日(土)～8 月 23 日(日)(56 日間)	
	観覧料	一般 800(600)円、大高生・65 歳以上 600(500)円、 中学生以下無料／(　)内は 20 名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)	
	入館者数	3,042 人	展示風景(展示室 B)
	展示概要	アトリエ ニキティキの現代玩具コレクションから、ドイツ・スイスを中心としたヨーロッパの、主に 1970 年代以降の子ども向けの人形やドールハウスなどを、3 つのテーマで紹介。遊びと暮らしが密接に結びついた子どもの友達としての人形などを、成長段階に沿って紹介するとともに、人形にこめられた思いなどについても考察した。 「1. はじめて出会う人形」では、ベッドで長い時間を過ごす乳幼児向けの肌触りの良い人形や、ケテ・クルーゼ(ドイツ)やサーシャ・モルゲンターラー(スイス)など、我が子のために人形を作りはじめた作家による人形を紹介した。 「2. 人形の家」では、木製のドールハウス 10 数点を、街を構成するように立体的に展開し、加えてヨーロッパの伝統文化や風俗を示すミニチュアも展示した。 「3. あやつり人形ーお話から人形劇へ」では、民話や童話の登場人物(キャラクター)を表した指人形、ハンドパペット、マリオネットなどを取り上げた。実際に人形が動く様子が伝わるよう、会場内で動画も上映した。 コロナ禍で来館できない方に向けて、美術館で開設した YouTube チャンネルから、展示の紹介動画を多数制作し発信し、好評を得た。	展示風景（展示室 C）
	関連催事	「みんなでつくる思い出の人形アルバム」 開催期間:展覧会会期中　応募者:40 人 大切な人形の絵や名前、そして思い出などを、所定の用紙に描いて提出いただき、展示室に掲示した。	
		★　大人のための美術カフェ	★中止
	広報実績	・「ミセスビュー ART」ミセス（6 月号） ・岡部匡志「おさなごに寄り添う リポート『あそぶひとー人形と子どもの暮らし』展 目黒区美術館」美術展ナビ（読売新聞ウェブ版）（7 月 8 日掲載） ・「おでかけ REPORT 人形の世界」NHK あさイチ（7 月 16 日放送）	

【動画公開（「タイトル」/公開日/YouTube 再生回数)】

1)「あそぶひと展の紹介」5 月 13 日・433 回
2)「4 人の人形作家さんのお話（前編)」/5 月 23 日/217 回
3)「4 人の人形作家さんのお話（後編)」/5 月 31 日/150 回
4)「子どもが好きになる、最初の人形玩具のお話」/6 月 13 日/182 回
5)「人形の家のお話」/6 月 20 日/222 回
6)「あやつる人形～指で手で のお話」/7 月 5 日/253 回
7)「ネフのおもちゃであそんでみたい！のお話」/7 月 19 日/148 回
8)「あやつってみた！ハンドパペット・棒人形・鉄棒人形・マリオネットのお話」/8 月 2 日/247 回
9)「MMAT ミニワークショップ夏 2020『くつ下パペットの冒険』」/8 月 18 日/306 回
10)「MMAT ミニワークショップ夏 2020『おうちにあるものでマリオネットをつくろう！』」/8 月 18 日/165 回

★	展覧会名	包む－日本の伝統パッケージ	★令和 3 年度に延期
	会　期	令和 2 年 7 月 11 日(土)　～8 月 30 日(日)(44 日間)	

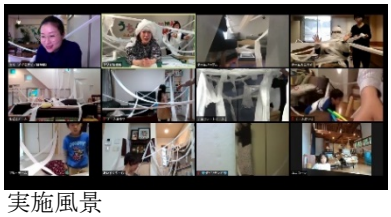
(2)	展覧会名	前田 利為(としなり)　春雨に真珠をみた人 －前田家の近代美術コレクション－	 展示風景(展示室 A)
	会　期	令和 3 年 2 月 13 日(土)～3 月 21 日(日)(32 日間)	
	観覧料	一般 800(600)円、大高生・65 歳以上 600(500)円、 中学生以下無料／(　)内は 20 名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可)	
	入館者数	4,075 人	 展示風景（展示室 C）
	展示概要	公益財団法人前田育徳会の特別協力により、目黒区駒場に同会の前身となる財団と邸宅(洋館・和館)を構えた、前田家第 16 代当主利為の収集した近代美術コレクションを紹介した。同会の近代美術コレクションは、石川県立美術館で公開されたものなどを除けばきわめて露出が少なく、多数の作品が初公開となった。 展示室 A は「若き侯爵の審美眼－利為のコレクションをひもとく－」とし、国内外で収集された利為の近代美術コレクションを展示した。 展示室 B は「名家の歴史を担って－前田家の事跡を伝える－」とし、前田家の始祖の利家や、第 5 代当主綱紀にまつわる作品、利為自身の事跡を描かせた作品などを展示した。 展示室Cとロビーでは、「駒場邸での暮らし」として、本郷から移り住んだ駒場邸にまつわる作品や、駒場邸の図面や特注の調度品のデザイン画などを展示した。	
	関連催事	「記録動画　前田家第十八代当主　前田利祐氏インタビュー」上映 開催期間:展覧会会期中　開催場所:B 展示室 編集協力:岡川純子 当初、関連催事として、前田家現当主(第 18 代)前田利祐氏による講演会を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対面による催事を行わず、同氏へのインタビューを撮影し、編集した動画を会場内で上映した。時に立ち見も出て、盛況であった。	 記録動画上映風景(展示室 B 内)
		★　大人のための美術カフェ	★中止
	広報実績	石川健次「Art Scene」サンデー毎日（2021 年 3 月 21 日）	

2 ワークショップ事業

(1)ワークショップ夏

★	講座名	ワークショップ夏	★中止
	実施時期	夏期	

(2)ワークショップ春

<table>
<tr><td rowspan="7">①</td><td>講座名</td><td>遠のくあそび・近づくあそび vol. 0
離れてあそぶ初めての うちんち！ワークショップ
Aコース: いきなり！レシート
Bコース: ぱり、しわ、くん、びり！新聞紙
Cコース:もりもり！トイレットペーパー</td><td rowspan="6">
実施風景
（Aコース Zoomのスクリーンショット）</td></tr>
<tr><td>実施日時</td><td>令和2年11月23日（月・祝）
10:30～11:30/13:45～14:45/15:45～16:45</td></tr>
<tr><td>会 場</td><td>オンライン（Zoomを使用）
(配信場所は目黒区美術館ワークショップ室)</td></tr>
<tr><td>ナビゲーター</td><td>＆4＋doメグロアソビ冒険隊
（降旗千賀子、中村良子・山本桃子・澤村幸子）</td></tr>
<tr><td>対象・定員</td><td>各コース:小学1年生以上 2人以上1組の家族、7組
（事前申込制）</td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td>Aコース: 7組（申込数8組）
Bコース: 5組（申込数6組）
Cコース: 7組（申込数7組）</td></tr>
<tr><td>内 容</td><td colspan="2">新型コロナウイルス感染症対策の1つとして企画した、“おうち”に居ながら参加できるオンライン方式のワークショップ。初めてのオンラインによる実施となるため、ワークショップ春の準備編とした。
「ソーシャル・ディスタンス」を”距離”や”長さ”といった観点に替え、身の回りの物を使って、”距離”や”長さ”をポジティブに捉え直すことを目指す内容とした。
取り上げたのは、いずれも身近な素材であるレシート、新聞紙、トイレットペーパー。幅も長さも一番短い感熱紙レシートは、熱などで白黒に変わる現象を利用しグラフィカルな創作を、平たくて大きい新聞紙は柔らかくなるまで揉んで帽子やリボンなどファッショナブルな作品制作に、トイレットペーパーは体や家具などに巻きつけるなどして長さを体感した。
本講座ではアンケートもオンラインで実施し、回答率は100%となった。どのコースも、参加者の評価、満足度は高く、子どもたちにも保護者にも楽しんでいただけた。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">②</td><td>講座名</td><td>遠のくあそび・近づくあそび vol. 1
離れてあそぶ初めての うちんち！ワークショップ
Aコース: ぐるぐる！ トイレットペーパー
Bコース: おどろき！ レシート
Cコース: へんしん！ しんぶんし！</td><td rowspan="6"> 
実施風景
（Aコース Zoomのスクリーンショット）

実施風景
（Cコース Zoomのスクリーンショット）</td></tr>
<tr><td>実施日時</td><td>令和3年3月21日（日）10:30～11:30/13:00～14:00/15:00～16:00</td></tr>
<tr><td>会 場</td><td>オンライン（Zoomを使用）
（配信場所は目黒区美術館ワークショップ室）</td></tr>
<tr><td>ナビゲーター</td><td>＆4＋doメグロアソビ冒険隊
（降旗千賀子、中村良子・山本桃子・澤村幸子・清瀬ゆり亜）</td></tr>
<tr><td>対象・定員</td><td>各コース:小学1年生以上 2人以上1組の家族、8組
（事前申込制）</td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td>Aコース: 10組（申込数12組 ※第1希望での申込数）
Bコース: 9組（申込数18組 ※第1希望での申込数）
Cコース: 11組（申込数8組 ※第1希望での申込数）</td></tr>
<tr><td>内 容</td><td colspan="2">令和2年11月に企画した、“おうち”に居ながら参加できるオンライン方式のワークショップを、ブラッシュアップさせた内容で、対象を家族だけでなく大人のみも可の講座として実施。今回も身近な素材のトイレットペーパー、レシート、新聞紙でコースを設定した。A・Bコースの第1希望申込者数は定員組数を超え、抽選を行い、結果第2希望のコースで受入れとした。トイレットペーパーは長さとしなやかさを、部屋一面に張りめぐらせたり体に巻き付けたりして体全体で遊び、感熱紙のレシートでは今回も各組で目をひくグラフィック作品が完成、新聞紙は1枚1枚を床に広げ紙の大きさを体感し、柔らかくなるまで揉んでリボンやマント、靴などを作り変身して遊んだ。
前回同様、オンラインでアンケートを実施したところ、参加者の満足度は高く、大人の参加者からも高評価を得た。子供と参加した保護者には、ちょうどよい講座時間で気軽に参加できること、身近な素材での遊びの可能性の気づき等に高評価をいただいた。</td></tr>
</table>

3 教育普及事業

(1) ギャラリーツアー

学校との連携事業として、小学校の学年単位での鑑賞教室を受け入れた。

No.	展覧会名等	学校名	開催日	学年	参加者
1	目黒区美術館コレクション展 LIFE－コロナ禍を生きる私たちの命と暮らし	向原小学校	令和 2 年 11 月 12 日(木)	4 年生	45 人

(2) アウトリーチ

目黒区美術館では、これまで TVT(トイコレクションボランティアチーム)が主体となり、目黒区民センター児童館に出張し、コレクションであるトイを使用して遊ぶプログラムを実施してきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面でのプログラムを全て中止とした。替わって、これまでのアウトリーチの活動を紹介する動画を TVT が制作し、YouTube にアップし、当館ホームページからも視聴できるようにした。

動画タイトル	トイコレクションボランティアチーム アウトリーチ編	 動画の画面より
制 作	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム)	
配信開始日時	令和 3 年 1 月 7 日(木) (再生回数 97 回)	
配信媒体	目黒区美術館 YouTube チャンネル及びホームページ	

(3) トイの日

目黒区美術館では、アウトリーチ同様に、これまで TVT(トイコレクションボランティアチーム)が主体となり、目黒区美術館が所蔵する積木のコレクションを基本に、美しく造形的な積木での感性教育、造形遊びを養うためのプログラムを実施してきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面でのプログラムを全て中止とした。替わって、これまでのトイの日の活動を紹介する動画を TVT が制作し、YouTube にアップし、当館ホームページからも視聴できるようにした。

動画タイトル	トイコレクションボランティアチーム トイの日編	 動画の画面より
制 作	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム)	
配信開始日時	令和 3 年 2 月 18 日(木) (再生回数 104 回)	
配信媒体	目黒区美術館 YouTube チャンネル及びホームページ	

(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

★	講座名	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー	★中止
	実施日	令和 2 年 4 月 29 日(水・祝)／5 月 9 日(土)／5 月 17 日(日)／5 月 29 日(金)	

(5) 館長美術講座

インドに留学し、仏教遺跡の実地調査を多数行ってきた秋山館長が、自ら撮影した数々の貴重な画像とともに、仏教関連遺跡や美術について、解りやすく語るプログラム。

【動画公開】開講後に「①大猿本生」の内容を 10 分に収めた動画を配信した。

「知られざるブッダの前世の物語」9 月 16 日公開 YouTube 再生回数 190 回

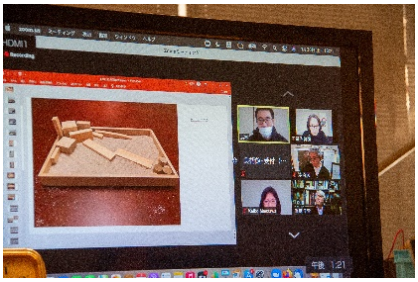
①～③	講座名	目黒区美術館館長トークⅣ　インドの仏教美術	 実施風景（展示室 A）
	講　師	秋山光文（当館館長）	
	内　容	館長による美術講座の第 4 弾。9 月に区展が中止となったため、展示室を使用し広い空間の中でソーシャル・ディスタンスを確保したうえで、中止となった令和 2 年 2 月と同内容で開催した。今回はブッダの前世について説いた「本生譚（ジャータカ）」の中から、特に好まれた主題を3つ取り上げ、インドから伝播した仏教文化の広がりとともに、アジア諸地域での作例も検証した。	
	開催日	①　令和 2 年 9 月 12 日（土）　13:00～13:50	「大猿本生」
		②　令和 2 年 9 月 12 日（土）　14:00～14:50	「ルル鹿本生」
		③　令和 2 年 9 月 12 日（土）　16:00～16:50	「六牙象本生」
	対象・定員	高校生以上　50 人	
	参加者数	31人（申込数 40 人）	

④～⑤	講座名	目黒区美術館館長トークⅤ　60 分でインド旅行	 実施風景（展示室 A）
	講　師	秋山光文（当館館長）	
	内　容	館長による美術講座の第 5 弾。前回に引き続き、空いている展示室を使用し広い空間の中でソーシャル・ディスタンスを確保したうえで開催した。コロナ禍で海外旅行が困難である状況を受け、飛行機を降りたところから始まり、南北インドの史跡をバーチャルで周遊するストーリーで紹介した。	
	開催日	④　令和 3 年　1 月 16 日（土）　14:00～15:00	「北インド編　カジュラーホー寺院群など」
		⑤　令和 3 年　1 月 16 日（土）　15:15～16:15	「南インド編　マハーバリプラムなど」
	対象・定員	高校生以上　50 人	
	参加者数	37 人（申込数 40 人）	

(6) デザインキャンプ

今年で 10 回目となるハーマンミラージャパン株式会社との共同企画は、近年人気のプログラムとして定着してきた。

①～②	講座名	日本の《庭園》 × イームズの《Powers of Ten》 －時間と空間の宇宙－	 重森千青の手掛けた庭園 「長野ホテル犀北館庭園」©2020 重森千青
	開催日	①講義編　令和 2 年 11 月 29 日（日）10:30～12:30 ②実践編　令和 3 年 1 月 30 日（土）13:00～16:00 ※②は、①の受講者の応募のみ	
	実施場所	①・②ともオンライン （①は Webex 使用、②は Zoom を使用）	

	講　師	重森千青（作庭家、重森庭園設計研究室主宰）	 ②実践編の様子（撮影：岡川純子）
	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	降旗千賀子（＆4+do キュレーター）	
	対象・定員	①　高校生以上一般 50 人 ②　①の受講者から 15 人	
	参加者数	①　57 人（申込数 66 人）　②　12 人（申込数 13 人）	
	内　容	令和 2 年 3 月に予定していた 9 回目（令和元年度）のプログラムが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催直前に中止になったことから、当初の内容をオンライン向けに新たに内容を組み立て直し、10 回目として開催した。 ハーマンミラーのデザイナー、イームズ夫妻のデザインと日本の「庭園」を結びつける試みとして、講師に作庭家の重森千青氏を招き、イームズ夫妻の代表作の一つ、映画「Powers of Ten」（宇宙・人・素粒子をつなぐ壮大な大きさと時間をわずか 9 分で旅する映像）と、石や砂、水など、自然の素材で様々な風景を凝縮させた日本の庭園が表現する宇宙観について、①講義編と②実践編の二段階に分けて考察した。 実施済みの①講義編に対しては、オンラインによるアンケートの結果、好評価を得られた。 ②実践編はワークショップ形式で実施した。事前に材料一式を参加者へ送付し、まずは予備知識なしに小さな庭づくりを体験し、その写真をもとに講師による講評を聞くことから始めた。歴史ある庭園を挙げていただきながら、「作庭の極意」などのお話しを聞いた後、再び作庭キットでの庭づくりを実践した。オンライン上で各々の作品を前に講師と参加者が対話しながら、参加者全員で鑑賞した。今回は、小さなトレーと立方体や円柱など限られたオブジェでの作庭ではあったが、実際に手で作ることで小さな空間に広がる宇宙観を体感し、講師のコメントで理解を深めていけた。終了後のアンケートもオンラインで実施した。講師の重森氏のコメントを直接聞け、対話が出来たことと、庭園にさらに興味を持てたという点で高評価をいただいた。	

4　その他美術に関する事業

(1) 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。実習期間、実習内容については、担当学芸員と面接により決定する。令和2年度は 10 人の学生を受け入れた。

【2年度受入実施校】

多摩美術大学 2 人、武蔵野美術大学 2 人、青山学院大学、東京都立大学大学院、尚美学園大学、昭和女子大学、専修大学、東京造形大学　各 1 人

(2) 広告事業等（件数等広報一覧詳細については後掲「補足資料4」参照。）

①　広報事業

⑴　当館ウエブサイトを随時更新
⑵　Facebook、twitter、Instagram、メルマガ会員情報配信
⑶　YouTube 公式ページ開設、動画配信
⑷　めぐろ区報、目黒区ホームページ
⑸　プレスリリース、ポスター・チラシの発送
⑹　新聞掲載
⑺　JR 目黒駅広告看板掲出・通年（ポスター）
⑻　近隣商店会（7 商店会）へのチラシ配布協力依頼
⑼　ミューぽん（スマートフォンアプリ）利用
⑽　駅貼り広告・展覧会毎（ポスター）

② 共通入館券「ぐるっとパス」事業

令和2年度も元年度同様、都内の美術館・博物館等の普及活動や新たな需要の開拓等を目的とした「東京の美術館・博物館共通入館券実行委員会・ぐるっとパス」に参加した。ぐるっとパスは1冊 2,200 円で購入可能であり、パス所持者は当館へ無料で入館することができる。

実行委員会は、参加館の負担金、事業収入等により共通入館券の発行、ポスター・パンフレットの作成その他広報を行い、共通入館券の販売及び入館料の収入、並びに負担金額は年度末に精算される。

【実施実績】

年度	参加館	共通入館券売上冊数	共通入館券による入館者数
2年度	99館	88冊 （13，463冊）	1，938人 （113，549人）
元年度	95館	273冊 （39，429冊）	6，087人 （ 291，803人）

＊上段は目黒区美術館、（　）内は全体数〔参加館、「ぐるっとパス」事務局取扱、委託販売の合計〕

③ 報告書作成

展覧会やワークショップについての報告を、ミュージアムシートとして発行した。

No.28「2020 年コロナ禍の目黒区美術館の記録」 令和 2 年 12 月 24 日発行

No.29「視ることの楽しみ－画材と素材の引き出し博物館」 令和 3 年 3 月 25 日発行

No.30 「前田家コレクションにみる日本の近代美術黎明期【前田利為　春雨に真珠をみた人－前田家の近代美術コレクション－】展より」令和 3 年 3 月 25 日発行

第2 受託事業（定款第 4 条第 1 項第 2 号）

1 指定管理事業展覧会

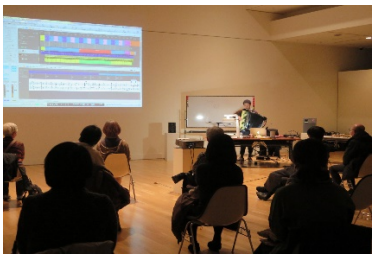
(1)	展覧会名	目黒区美術館コレクション展 LIFE－コロナ禍を生きる私たちの命と暮らし	 展示風景（展示室A） 撮影: 後藤充
	会 期	令和 2 年 10 月 24 日（土） ～ 11 月 29 日（日）（32 日間）	
	観覧料	一般 700（550）円、大高生・65 歳以上 550（400）円、 中学生以下無料／（ ）内は 20 名以上の団体料金 ・障がいのある方とその付添者1名は無料 ・目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金（他との併用不可）	
	入館者数	2,023 人	 展示風景(展示室B) 撮影: 後藤充
	展示概要	英語の「LIFE」には、「命」と「暮らし」の意味がある。コロナ禍を生きる私たちは、これまで以上に「命」と「暮らし」に思いを巡らせているのではないか。 当初予定していた内容から、下記の 4 つのテーマの下に目黒区美術館のコレクションをとおしてこの問題に向き合う展示へと変更した。 第 1 章「恐怖と不安、そして悲しみ」では、コロナ禍にあり、私たちが抱くこうした感情を表現したような作品を展観した。 第 2 章「愛しき日々」では、いわゆる「オールド・ノーマル」、コロナ前の生活を描いた作品を展示した。当たり前と思っていた日常は、失われて初めてその素晴らしさが実感される。	

		第 3 章は「それでも私たちは今を生きる」とし、コロナ禍でのステイ・ホームの生活を思わせる、屋内で、孤独にもしくは肩を寄せ合いながら生きる人々の姿を描いた作品を展示した。 最後の第 4 章は「再び抱き合える日に」。戦争や災害など、人類はこれまでも様々な苦難を克服してきた。いつかまた、抱き合える日が来るという願いを込めて、再生や希望を想起させる作品を紹介した。	 展示風景(展示室C) 撮影: 後藤充
	関連催事	**目黒区美術館　マスク・プロジェクト** **「マスクに思いをのせて、つながろう」** 開催期間:展覧会会期中　参加人数:235 人 対面によるプログラムが開催できないことから、会場内に設置したマスク型の用紙に、展覧会の感想などを来館者が自由に記入してもらう内容とした。「生活を見直した」、「やはり芸術は必要」、「希望をありがとう」といった意見が多く寄せられた。コロナ禍の不自由な生活に様々な思いを抱く人が多いためか、じっくりと観覧した上で、熱心に記入して思いを伝える来館者の姿が印象的であった。	 マスク・プロジェクト風景 撮影: 後藤充
		★　大人のための美術カフェ　★中止	
	広報実績	・「コロナ下　日常と命思う」読売新聞　10 月 25 日 ・「【アートウォッチ】『希望をありがとう』…来館者の熱い声続々」産経ニュース Web 版　11 月 18 日 ・「目黒区美術館コレクション展　LIFE　コロナ禍を生きる私たちの命と暮らし」新美術新聞　10 月 11 月号	

【動画公開（「タイトル」/公開日/YouTube 再生回数)】

1)「鉛筆画家・木下晋　コロナ禍につなぐ命のバトン」/10 月 24 日/449 回
2)「鉛筆画家・木下晋　掌中にある命の形」/10 月 24 日/154 回
3)「鉛筆画家・木下晋　愛猫シロと動物の命」/10 月 24 日/164 回

(2)	展覧会名	視ることの楽しみ－画材と素材の引き出し博物館	
	会　期	令和 3 年1月 16 日(土)～1 月 31 日(日)(14 日間)	
	観覧料	無料	
	入館者数	1,430 人	 展示風景（展示室 B）
	展示概要	中止となった「めぐろの子どもたち」展の代替えの展覧会として、本館 2 階の展示スペースの約半分(展示室 B＋展示室 C)を会場とし開催した。 「画材と素材の引き出し博物館」は、展覧会とともに教育普及活動も積極的に取り組んできた当館が、美術作品と鑑賞者を結ぶツールとして企画・制作したオリジナルの美術教材である。本展は久しぶりにすべての引き出しを一堂に並べ、画材と素材に向き合う絶好の機会とした。通常の美術展では、画材や素材が展示の主役となることはほぼ無いため、本展を通して、様々な美術の表現を支えてきた画材や素材を知り、そしてそのことで、美術作品をこれまでとは違った角度から“視る”という楽しみの発見へとつながることを期待した。14 日間という短い会期で、広報も限定的なものであったが、1 日平均約 100 名の来館者を数え、予想以上の来館者に恵まれた。熱心に熟覧する姿も多く見られた。	 展示風景（展示室Ｃ）

	関連催事	めぐろパーシモンホール×目黒区美術館　共同企画 「音楽家の引き出し、お見せします。大口俊輔編 ーお話＆演奏ー」 出演:大口俊輔氏(作曲家/ピアニスト、アコーディオン奏者) 開催日時:令和3年1月24日(日)14:00-15:30 開催場所:A展示室 参加人数:50人	

2　作品の保管・活用

(1)　寄贈・寄託作品　＝　0件

(2)作品貸出

作品貸出　件数 点数　＝ 合計　16件 16点

①3件 3点

小林萬吾「西洋婦人」
満谷国四郎「ブルターニュ」
安井曽太郎「パリの公演」
展覧会名：白馬のゆくえ　小林萬吾と日本洋画50年
貸 出 先：香川県立ミュージアム、久留米市美術館、高梁市成羽美術館
会　　期：【香川】令和2年4月11日～6月7日、【久留米】令和2年6月20日～8月23日、【高梁】令和2年9月5日～11月29日
貸　　出：令和2年3月27日～12月8日

②9件 9点

高野三三男「ヴァイオリンのある静物（コンポジション)」
高野三三男「人形を持ったパリジェンヌ（アルルカンとコロンビーヌ)」
高野三三男「デコちゃん（高峰秀子)」
加山四郎「寺の小路」
大月源二「どうぞご心配なく」
大月源二「一寸こちらで一息」
大月源二「燃える支那」
大月源二「興亜会議」
青山襄「伝単　共産党圧迫民衆」
展覧会名：わが青春の上杜会－昭和を生きた洋画家たち
貸 出 先：神戸市立小磯記念美術館、豊田市美術館
会　　期：【神戸】令和2年10月3日～12月13日、【豊田】令和3年1月5日～3月14日
貸出期間：令和2年9月19日～令和3年3月26日

③2件 2点

藤田嗣治「メキシコの少年」
藤田嗣治「静物（糸巻)」
展覧会名：藤田嗣治と彼が愛した布たち
貸 出 先：福岡市美術館

会　　期：令和 2 年 10 月 17 日～12 月 13 日
貸出期間：令和 2 年 10 月 2 日～12 月 24 日

④2 件 2 点
高島野十郎「百合とヴァイオリン」
高島野十郎「牡丹花」
展覧会名：生誕 130 年記念　高島野十郎展
貸 出 先：久留米市美術館、奈良県立美術館、高崎市美術館
会　　期：【久留米】令和 3 年 1 月 20 日～4 月 4 日、【奈良】令和 3 年 4 月 17 日～5 月 30 日、
【高崎】令和 3 年 9 月 5 日～11 月 7 日
貸出期間：令和 3 年 1 月 9 日～6 月 7 日（予定）、令和 3 年 8 月 26 日～11 月 15 日（予定）
※令和 2～3 年度にまたがる巡回展。

(3) 資料貸出
資料貸出　件数 点数　＝ 合計　 0 件　0 点

3 区民ギャラリーの貸出(利用状況については後掲「補足資料3」参照)
区民ギャラリーの貸出に関する業務を行った。利用率は、1 回目の緊急事態宣言後に多少戻ったが、2 回目の緊急事態宣言を経て再びキャンセルが相次いだため、年間で 50.4%という結果となった。
空き状況については従来のホームページでの情報公開、メルマガ情報配信、チラシの配布に加え、SNS 上に配信した。また、目黒区美術館公式 YouTube チャンネルを開設したことにより、区民ギャラリーの紹介を動画で行った。
保守メンテナンス等については、
①毎年行っている展示壁のクリーニング及び保守点検を行った。
②区の予算により展示台の一部軽量化を行った。
③区の予算により展示壁の一部を展示し易い有孔ボード仕様に改修した。
④展示台収納ラック及び S 字フック収納整備を行った。
⑤スポットライト落下防止ワイヤーの交換を行った。

【利用実績】

年度	利用実延面数	利用料収納実績	利用率	入館者数
2年度	239面	2，486，750円 (2,927,750 円)	50．4%	延べ6，967人
元年度	506．25面	5，246，064円 (4,756,064 円)	88．2%	延べ28，793人

＊利用料収納実績の上段は収納日の年度の合計、(　)内は当該年度の決算数値である。
＊2年度の利用実延面数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため 4 月 2 日から 5 月 31 日まで臨時休館したため減少した。
＊2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりキャンセルが生じた結果、利用率が下がった。
（キャンセルが生じなかった場合の利用率は、98．8%である。）

4 その他の受託事業

(1)めぐろオータムアート

★	講座名	目黒建築めぐり塾	★中止
	開催日	秋頃	
★	講座名	音楽と美術のワークショップ	
	開催日	秋頃	

(2)障がいのあるアーティストによる作品展　日々のよろこび 2020

★	講座名	障がいのあるアーティストによる作品展　日々のよろこび 2020	★令和 3 年度に延期
	会　期	令和 2 年 11 月 10 日(火)～11 月 29 日(日)	

第3 その他事業(定款第 4 条第1項第4号及び第4条第2項)

1 芸術文化活動団体等や学校教育への協力・支援

(1) 区展(区民作品展)への協力　★中止

会期:令和 2 年 9 月 16 日(水)～27 日(日)(11 日間)

(2) 区内美術4団体への協力

①目黒区写真美術協会展　協会都合により実施予定無し

②目黒区書作家協会展　(会期:令和 2 年 5 月 13 日(水)～5 月 17 日(日))　★中止

③目黒区美術家協会展　(会期:令和 2 年 6 月 17 日(水)～6 月 21 日(日))　★中止

④目黒区美芸作家協会展(会期:令和 3 年 3 月 23 日(火)～3 月 28 日(日))　★中止

(3) 区内等中学校への協力

新型コロナウイルス感染拡大の影響により例年受け入れていた学校から依頼はなかった。

(4) 視察/研修等の受け入れ

①令和 2 年 8 月 4 日(火)　大田区文化振興課　収蔵庫視察　4 人

②令和 2 年 8 月 22 日(土)　東京藝術大学　画材と素材の引き出し博物館　見学　4 人

③令和 2 年 10 月 27 日(火)　東京造形大学　博物館実習Ⅱ履修者　施設見学　20 人

④令和 3 年 1 月 22 日(金)　跡見学園女子大学　博物館教育論履修者　施設見学　23 人

2 危機管理体制

消防計画や事象別危機管理対応マニュアルをもとに、館をとりまく様々な災害等を想定し、職員一同日頃より情報共有に努め、日常的な点検をはじめ緊急時等に備えている。2 年度の主な対応は以下のとおりである。

(1)新型コロナウイルス感染症対策

日本博物館協会の「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」をもとに、「入場者の制限や誘導」、「手洗いの徹底や手指の消毒設備の設置」、「マスクの着用の要請」等を行うほか、3 つの密を避け、人と人との距離を適切にとるなど、感染対策を行った。具体的には、清掃・消毒の徹底、受付や展示室の入口等に行列ができないように、約 2 メートルの間隔を空けた整列を促すほか、受付等のアクリル板の設置、検温や収容率 50%の入場制限の対策を行った。

(2)防火・防災対策

令和 3 年 3 月 4 日(木)に震災を想定した避難訓練を実施した。訓練は目黒消防署指導のもと、目黒区美術館消防計画に基づき職員・監視員・受付スタッフが参加して行った。併せて消防署員より消火栓設備の使用方法の指導を受けた。

(3)衛生管理

ラウンジ(喫茶コーナー)の運営にあたっては、職員が保健所の食品衛生講習を受講し、ボランティアスタッフとともに手洗いの励行、定期的な清掃、材料の衛生管理など食中毒の予防に努めた。

(4)監視員研修

展覧会開催時の監視員に対し、展覧会毎に避難誘導、急病者、不審者等への対応について事前説明を行うほか、事例別の特別研修会を行った。具体的には「お客様が転倒し作品にぶつかった拍子に作品が破損してしまった事故」と「不審な行動を繰り返すお客様への対応」を学芸係長と管理係長が講師となって指導するなど、不測の事態に備えた。

3 収益事業等(ミュージアムショップ、ラウンジ運営)

(1)ミュージアムショップ(通年)での取組

① 商品ラインナップの入れ替えや季節商品(干支の置物等)の販売を行い、リピーター利用者が飽きないように工夫をした。

②各展覧会に関連した書籍やグッズ等を販売し、手数料収入を得た。

③展覧会図録については、1 年を通してウエブサイトから簡単に申し込み可能な通信販売を実施しており、遠隔地のお客さまに好評であった。(電話、FAX申し込みも可)

【あそぶひと―人形と子どもの暮らし】展

・緊急事態宣言解除直後の自主企画展ということもあり、来館者の密を避けるためにミュージアムショップのラインナップを通常より限定して販売した。

・図録は好評で、会期中の販売部数は 438 冊であった。

【LIFE―コロナ禍を生きる私たちの命と暮らし】展

・コロナ禍での展覧会開催ということもあり、過去に 3 回開催したことのある「過去図録市」をオンラインショップ上で販売する試みを行った。その結果、来館することを躊躇されている一部の利用者からは喜ばれたものの、39 冊の販売部数にとどまった。ウエブサイトやSNS、メールマガジン等での広報は行ったものの、図録はやはり手にとって吟味したうえで購入したいという心理が影響したと思われる結果となった。

・本展よりミュージアムショップのラインナップを通常に戻した。(過去図録を除く)

【視ることの楽しみ―画材と素材の引き出し博物館】展

・会期が短い割には各商品ともよく売れた。なかでも当館過去図録であり、本展に関連のある「ワークショップ 20 年の記録」は、在庫の 29 冊は完売となった。

【前田利為　春雨に真珠をみた人】展

・図録 338 冊のほか、出品作品にちなんだオブジェが 45 個、関連のポストカード(全 4 種) 636 枚の販売実績となった。全体的に商品が良く売れた展覧会であり、当館オリジナルグッズであるクリアファイルやトートバッグも通常の展覧会開催時よりも販売点数が伸びた。

(2)ラウンジでの取組

①「LIFE－コロナ禍を生きる私たちの命と暮らし」展では、疫病退散にご利益があるというアマビエにちなんだ「アマビエサイダー」を販売したところ、67 本の販売実績となった。

②新型コロナウイルス感染拡大の影響により「あそぶひと－人形と子どもの暮らし」展、「視ることの楽しみ－画材と素材の引き出し博物館」展、「前田利為　春雨に真珠をみた人」展では、ラウンジの営業は行わなかった。

4 ボランティア活動

ボランティア会員 87 人（令和 3 年 3 月 31 日現在）が、5班（ラウンジ班、トイコレクション班、建築班、広報班、資料整理班）に分かれ、コロナ禍において可能な範囲で美術館運営に関するボランティア活動を行った。

ボランティア研修として、毎年開催しているバスツアーは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

毎年、年度末に開催しているボランティア総会については、令和元年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期となったため、本館休館時の 9 月 19 日（土）に、展示室を使い十分なソーシャル・ディスタンスを保ちながら開催した。また、令和 2 年度のボランティア総会も令和 3 年 3 月 27 日（土）に展示室に於いて開催した。

- ラウンジ班: 上述のとおり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で「LIFE」展（32 日間）のみの活動となった。
- トイコレクション班: 対面での活動が難しかったため、これまでのアウトリーチ活動を紹介した動画を作成し、YouTube チャンネル及び当館ウエブサイトで紹介した。また、普段なかなか取り組めないトイの整理を積極的に行った。
- 建築班: 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー及びめぐろオータムアート事業の中止に伴い、活動はなかった。
- 広報班：新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動はなかった。
- 資料整理班: 展覧会のデータ入力補助や資料整理のほか、作品リストや展覧会カレンダー、各種案内の英文翻訳を行った。

補足資料 1

令和2年度 展覧会事業実施状況

区分		あそぶひと	包む	LIFE	日々のよろこび 2020	視ることの楽しみ	前田利為	計
会期	期間	R2.6.20～8.23	令和3年度へ延期	R2.10.24～11.29	令和3年度へ延期	R3.1.16～1.31	R3.2.13～3.21	
	日数	56	0	32	0	14	32	134
入館者数(人)	目標	6,000	※①	2,500	※①	※②1,120	5,500	15,120
	実績	3,042	0	2,023	0	1,430	4,075	10,570
有料		1,495	0	687	0	0	2,050	4,232
一般(下記以外)		1,133	0	417	0	0	1,254	2,804
高校・大学・高齢者		362	0	179	0	0	796	1,337
無料		1,547	0	1,336	0	1,430	2,025	6,338
招待券		521	0	428	0	0	777	1,726
ぐるっとパス		413	0	674	0	0	851	1,938
障がい者		97	0	63	0	0	159	319
幼児・小・中学生		492	0	48	0	0	72	612
小学生ギャラリーツアー		0	0	45	0	0	0	45
その他(ピリエ会員等)		24	0	78	0	1,430	166	1,698
入館者割合(%)								
有料		49.1	—	34.0	—	0.0	50.3	40.0
無料		50.9	—	66.0	—	100.0	49.7	60.0
1日当たり入館者数(人)		54	—	63	—	102	127	79
入館料収入(円)		1,052,910	—	445,010	—	0	1,409,680	2,907,600
備考								

＊「その他」は内覧会参加者、ピリエ等の入館者数である。
＊「視ることの楽しみ」展は「めぐろの子どもたち展」代替展覧会として実施した。実績は全て「その他」に記載した。
＊「ぐるっとパス」については、受付の日計表とあわせて「無料」の区分としているが、実際の取扱いについては、45ページのとおりである。
※① 「包む」展及び「日々のよろこび」展の当初の目標は6,000人、800人である。
※② 「視ることの楽しみ」展の目標入館者数については、当初の事業計画にはなかったので、急遽設定した。

補足資料 2

令和2年度 展覧会入館者数等の推移

区分			令和2年度	令和元年度	前年度比較	
展覧会事業	事業数		4	6	△ 2	※①
	開館日数		134	201	△ 67	※②
	入館者数（人）	有料	4,232	14,571	△ 10,339	
		無料	6,338	24,839	△ 18,501	
		合計	10,570	39,410	△ 28,840	
	観覧料(円)		2,907,600	11,334,990	△ 8,427,390	
教育普及事業（ワークショップ事業含む）	春夏ワークショップ	開催数（回）	2	4	△ 2	※③
		参加者数（人）	98	94	4	
	ギャラリーツアー	開催数（回）	1	1	0	
		参加者数（人）	44	76	△ 32	
	トイコレクション アウトリーチ	開催数（回）	0	2	△ 2	※④
		参加者数（人）	0	120	△ 120	
	トイの日	開催数（回）	0	0	0	※⑤
		参加者数（人）	0	0	0	
	庁舎建築ガイドツアー	開催数（回）	0	4	△ 4	※⑥
		参加者数（人）	0	314	△ 314	
	デザインキャンプ	開催数（回）	2	0	2	
		参加者数（人）	69	0	69	
	館長美術講座	開催数（回）	5	0	5	
		参加者数（人）	68	0	68	
	大人のための美術カフェ	開催数（回）	0	3	△ 3	※⑦
		参加者数（人）	0	207	△ 207	
	合計	開催数（回）	10	14	△ 4	
		参加者数（人）	279	811	△ 532	

上記①～⑦は全て新型コロナウイルス感染拡大の影響による延期または中止である。

※①②展覧会の予定及び日程変更・延期または中止。

※③「夏のワークショップ」中止。

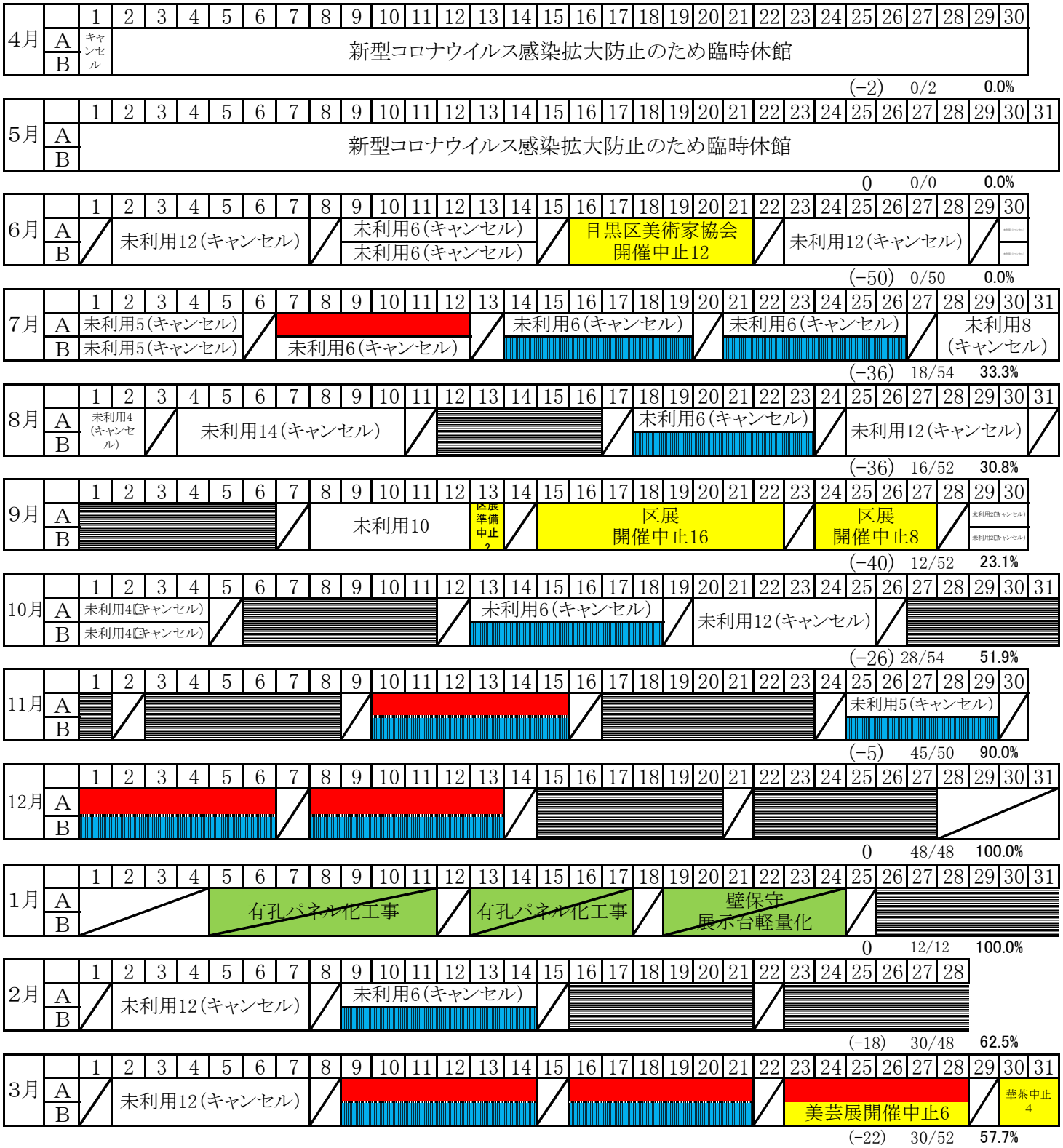
※④⑤「アウトリーチ」及び「トイの日」は中止となったが、関連動画を作成しYouTubeで配信した。

※⑥「庁舎建築ガイドツアー」中止。

※⑦「大人のための美術カフェ」中止。

補足資料 3

令和2年度　目黒区美術館　区民ギャラリー利用状況



全体　(−235)　239/474　50.4%

凡例

A面のみ利用　B面のみ利用　全面利用

共催、後援事業　保守、補修等　休館日

補足資料 4

令和2年度 広報一覧

広報内容	種別	広報手段		件数等		備考
館総合・各展覧会・ワークショップ等	美術館発信	当館ウエブサイト		308,580件(R2)		全体アクセス数
				493,015件(R元)		
		メールマガジン		18件	登録者数： 405人(前年比 ＋24人)	事業毎
		twitter		87件	フォロワー数:14,564人(前年比＋1,606人)	事業毎
		Facebook		43件	フォロワー数: 1,408人(前年比 ＋227人)	事業毎
		Instagram		61件	フォロワー数: 482人(前年比 ＋336人)	事業毎
		YouTube		19動画	チャンネル登録者数: 66人	令和2年度開始
		プレスリリース送付		約300件		各展覧会毎
		ポスター・チラシ送付		約700件		各展覧会毎
	区協力	めぐろ区報				通年
		目黒区ウエブサイト				通年
	ぐるっとパス事業参加(有料:分担金)					通年
	有料広告	JR目黒駅広告看板掲出				通年
		新聞掲載 毎日新聞	掲載日:6/21	4件	1件(都内版 5段1/2カラー)	あそぶひと展
			掲載日:10/21		1件(都内・神奈川版 5段1/2カラー)	LIFE展
			掲載日:2/11、3/3		2件(都内・神奈川版 全5段カラー)	前田利為展
		駅貼り広告	掲出期間:10/19-25	4件	1件(目黒駅)	LIFE展
			掲出期間:2/12-21		3件(目黒駅、中目黒駅、 駒場東大前駅)	前田利為展
		Facebook・Instagram 広告	配信期間:6/19-7/19、8/14-22	クリック回数	2,184回	あそぶひと展
		Yahoo インフィード広告	配信期間:10/23-11/3	クリック回数	5,630回	LIFE展
			配信期間:2/12-28		5,462回	前田利為展
区民ギャラリー利用案内	美術館発信	当館ウエブサイト		308,580件(R2)		全体アクセス数
				493,015件(R元)		
		メールマガジン		6件		空き室情報等
		twitter		7件		空き室情報等
		Facebook		1件		区民ギャラリー紹介動画
		YouTube		3動画		区民ギャラリー紹介動画
区庁舎等での広報協力		都内と近辺大学(芸術学部)へギャラリー案内送付				
		西口ロビーパネル展示		コロナの影響により日程調整がつかず中止		
		1階食堂近くの掲示板利用		1か所		
		文化・交流課窓口等				
		めぐろ観光まちづくり協会窓口				

処務の概要

（１）重要な契約の概要

契約名	契約年月日	相手方	契約趣旨
目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書	平成３１年４月１日	目黒区長	１　管理の業務の範囲 （１）目黒区文化ホール条例第４条に規定する事業に関する業務 （２）施設の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 （３）施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ２　協定の期間 平成３１年４月１日から平成３６年（令和６年）３月３１日まで
目黒区美術館の管理に関する基本協定書	平成３１年４月１日	目黒区長	１　管理の業務の範囲 （１）目黒区美術館条例第３条に規定する事業に関する業務 （２）本施設の観覧、特別観覧及び区民ギャラリーの利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 （３）施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 ２　協定の期間 平成３１年４月１日から平成３６年（令和６年）３月３１日まで
目黒区文化ホールの管理運営に関する令和２年度協定書	令和２年４月１日	目黒区長	令和２年度における目黒区文化ホール管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費を定める協定書
目黒区美術館の管理運営に関する令和２年度協定書	令和２年４月１日	目黒区長	令和２年度における目黒区美術館管理業務の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費を定める協定書

（２）財団運営会議開催状況

回数	開催年月日	議題
第１回	令和２年５月１２日 ※　新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
第２回	令和２年５月２７日	監査報告書の提出
		理事会提出議案等の確認
		評議員会提出議案等の確認
		その他
第３回	令和２年９月２９日	理事会提出議案等の確認
		評議員会提出議案等の確認
		令和３年度の区に対する予算要求について
		その他
第４回	令和３年２月３日	理事会提出議案等の確認
		評議員会提出議案等の確認
		予算の内示について（区査定額）
		その他

（３）理事会・評議員会開催状況

①　理事会

回数	開催等年月日	議案番号等	件名
第１回 (書面表決)	令和２年６月２日	議案第１号	令和元年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書（案）
		議案第２号	令和２年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団定時評議員会の招集について
		協議事項	令和３年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画（素案）について
		報告事項	令和２年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告（５月１５日現在）
第２回	令和２年１０月１３日	議案第３号	令和２年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第２回評議員会の招集について
		協議事項	令和３年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画（原案）
		報告事項	令和２年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告（９月１０日現在） 令和２年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の今後の事業執行見通し
			令和元年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価結果報告について
			理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況の報告について
第３回	令和３年２月１６日	議案第４号	令和３年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書（案）
		議案第５号	令和３年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算書（案）
		議案第６号	令和３年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込み
		議案第７号	令和２年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正１号予算書（案）
		議案第８号	令和２年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第３回評議員会の招集について
		議案第９号	専決処分した事項の報告及び承認について（給与規程改正）
		報告事項	令和２年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告（１月１５日現在）
			理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況の報告について
書面表決	令和３年３月２５日	議案第１０号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長の任用について

②　評議員会

回数	開催等年月日	議案番号等	件名
第１回 (書面表決)	令和２年６月２３日 （定時評議員会）	議案第１号	令和元年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団決算書（案）
		協議事項	令和３年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画（素案）について
		報告事項	令和２年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告（５月１５日現在）
第２回	令和２年１０月２９日	協議事項	令和３年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業計画（原案）
		報告事項	令和２年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告（９月１０日現在） 令和２年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の今後の事業執行見通し
			令和元年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価結果報告について
第３回	令和３年２月２５日	議案第２号	令和３年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画書（案）
		議案第３号	令和３年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算書（案）
		議案第４号	令和３年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団資金調達及び設備投資の見込み
		議案第５号	令和２年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正１号予算書（案）
		議案第６号	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団の基本財産を構成する財産について
		報告事項	令和２年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館の事業報告（１月１５日現在）

（４）評議員・理事・監事名簿

①　評議員　（順不同）

役職	氏名	備考
評議員	新　井　　篤　美	日本経済新聞社社友
評議員	伊　藤　　昌　明	目黒信用金庫理事相談役
評議員	柏　谷　　秀　男	弁護士・税理士
評議員	塩　田　　純　一	多摩美術大学客員教授
評議員	井　上　　裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
評議員	木　田　　左和子	昭和女子大学非常勤講師
評議員	箱　守　　栄　一	美術品リスクコンサルタント
評議員	橋　本　　安　男	目黒区民交響楽団団長
評議員	野　島　　稔	東京音楽大学学長
評議員	宮　廻　　正　明	東京藝術大学名誉教授
評議員	植　田　　健　二	目黒吹奏楽団団長

（令和３年３月３１日現在）

②　理事　（順不同）

役職	氏名	備考
理事長	清　水　　美知雄	ワッティー株式会社代表取締役
副理事長	山　下　　直　純	山下寝具株式会社会長
常務理事	伊　東　　桂　美	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長、パーシモンホール館長
理事	遠　藤　　幸　子	弁護士
理事	田　中　　晴　久	平和祈念展示資料館学芸員
理事	秋　山　　光　文	目黒区美術館館長
理事	中　屋　　早紀子	声楽家
理事	秋　岡　　陽	フェリス女学院大学前学長
理事	島　﨑　　忠　宏	パーシモンホール前館長
理事	渡　部　　弘	行政経験者

（令和３年３月３１日現在）

③　監事　（順不同）

役職	氏名	備考
監事	増　　秀　夫	税理士
監事	横　田　　俊　文	行政経験者

（令和３年３月３１日現在）